



Top Speed

次代への舵を取り
同志と共に
ぶっちぎれ!

2022.9.2^[FRI].3^[SAT]

日本商工会議所青年部
第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会

<https://suzuka-yeg.com/>

全ての比叡様に

感心謝

共に一歩前へ

令和四年度 東海ブロッグYEG 会長 松林大樹

目 次

YEG宣言・綱領・指針・青年部の歌	4
大会概要	5
ご挨拶 日本商工会議所 会頭	6
ご挨拶 日本商工会議所青年部 会長	7
ご挨拶 東海ブロック商工会議所青年部連合会 会長	8
ご挨拶 鈴鹿商工会議所 会頭	9
ご挨拶 東海ブロック大会 鈴鹿大会大会 会長	10
ご挨拶 鈴鹿商工会議所青年部 会長	11
ご挨拶 東海ブロック大会 鈴鹿大会実行委員長	12
ご祝辞 経済産業省 中部経済産業局長	13
ご祝辞 三重県知事	14
ご祝辞 鈴鹿市長	15
ご祝辞 東海商工会議所連合会 会長	16
ご来賓名簿	17
大会・式典プログラム	18
分科会	19~22
日本YEG役員・専門委員名簿	23~25
東海ブロックYEG組織図・役員名簿	26
東海ブロックYEG単会紹介	27・28
東海ブロックYEG歴代会長	29
東海ブロックYEG過去のあゆみ	30
第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会実行委員会 組織図	31
日本商工会議所青年部 ご協賛紹介	32~36
ご協賛企業紹介	37~57

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
私たちはYEGとして、地域を愛し、日本(にっぽん)を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。

綱 領

商工会議所青年部は
地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
次代への先導者としての責任を自覚し
地域の経済的発展の支えとなり
新しい文化的創造をもって
豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

われわれ青年部は

- 一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
- 一、国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう
- 一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
- 一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
- 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の礎となろう

商工会議所青年部の歌

「伸びゆく大地」

作詞…石井耕二
作曲…石井敏

一 伸びゆく大地

伸びゆく大地 日本

広がる街なみ 青い空

集える仲間は それぞれに

地域を支える 気概持つ

願いをかたちに 変えるため

商工会議所 青年部

求めて我らは 立ち上がる

二 幾山河を

幾山河を 越えていく

道は果てなく 遠いけど

夢追う気持ちは 忘れない

人と人が 語りあい

心と心を 結ぶため

商工会議所 青年部

時代を我らは 先駆ける

三 自由の海の

自由の海の 渚には

世界の波が 打ち寄せる

歴史の舵は 一つの世も

熱ある者が 取ってきた

豊かな郷土を 築くため

商工会議所 青年部

明日に我らは 船出する

大会概要

目的

経済・社会環境が大きく変化する中で、企業と地域社会の次代を担う青年経済人が互いに交流と連携の輪を拡げ、企業の発展と豊かな地域社会の形成に果たす商工会議所の役割を認識し、その実現のために青年経済人として何をなすべきかを研究し研鑽することを目的とする。

東海ブロック商工会議所青年部連合会スローガン

Remove The Limiter ～常識にとらわれない東海39の発想力! 輝く未来を掴む実行力!～

日本商工会議所青年部スローガン

YEG STORY ～我ら礎。共に創ろう、継ぎ、紡ぎ、繋げる、未来への道導～

開催地テーマ



鈴鹿市は三重県の中部に位置し、人口約20万人、面積 194.46km、東に伊勢湾、西には鈴鹿山脈に恵まれた自然豊かな街です。古くは東海道、伊勢国の国府が置かれたり長い歴史を持ちます。戦後まもなく本田技研工業鈴鹿製作所が設立され工業都市として生まれ変わり、関連の自動車部品工場なども多くみられます。また、広大で豊かな大地を活かして茶や花木、水稲などの生産が行われるなど農業と工業の合わさった緑の工都として現在に至ります。

そして、日本有数のレーシングコースの一つとして世界的にも有名な、「日本のモータースポーツの聖地 鈴鹿サーキット」があり、F1の日本グランプリやオートバイの8時間耐久レースなど国際及び国内レースなどが多数開催されております。

その鈴鹿で開催する大会として選んだテーマが、「Top Speed」～次代への舵を取り、同志と共にぶっちぎれ!～です。新しい時代はもうすでに始まっています。我々青年経済人が若き企業家の集まりとして全速力で先頭をきって行こうという想いでございます。また、大会ロゴマークのチェッカーカラーはモータースポーツ都市宣言を有する鈴鹿市の象徴であります。

時代は令和に移り変わると共に、かつて経験したことがないような様々な困難に陥りました。それまでの常識が通用しない中、我々YEGとして、そして次代の先導者として何ができるのか、自問自答の日々が続いてきたのではないのでしょうか。

しかし、様々な困難を乗り越えて来たことで、我々は成長し、その絆はより強固なものとなったはずです。YEG活動を通じて沢山の方々との出会い、仲間となり切磋琢磨し何かを成し遂げた先に大きな学びがあります。我々が青年経済人として成長すれば、自企業が成長し、地域の商工業が発展し、そして地域全体が活性化する。それがまた、自企業の飛躍へと繋がります。その大きなサイクルの舵をとっているのが、我々YEGの一人ひとりです。今こそエンジン全開で、同志と共に次代へと突き進んで参りましょう。

令和2年度3年度と共に、創意と工夫によってさらに進化を遂げた東海ブロック大会が開催されました。第35回東海ブロック大会鈴鹿大会では、その想いと経験をしっかりと受け継ぎ、常識にとらわれない発想力を持って、「ぶっちぎり」の学びと体験、そしておもてなしをさせていただき、ご参加いただく全ての方々がお楽しみいただける大会を目指しております。

記念式典においては、メイン会場に「イスのサンケイホール鈴鹿」、サテライト会場として「AGF鈴鹿体育館」をご用意し、次世代の生活様式を取り入れた上での二会場開催という、新しい形をとらせていただきます。

大会内容といたしましては、「ぶっちぎり」に魅力ある分科会をご用意させていただきます。世界に誇る鈴鹿サーキットではモータースポーツをビリビリと肌で体感できる分科会から、歴史ある椿大神社での散策、鈴鹿のお酒やグルメを余すことなく堪能できる、食と癒しと祭りの街「すずか横丁」まで、盛大に開催いたします。

我々鈴鹿YEGメンバーもみなさまと共に全力で楽しみます。ぜひ鈴鹿の地へ足を運んでいただき、我々東海ブロックYEGの絆をさらに深め、次代へと繋げていくために、東海の大きな輪を作り上げて参りましょう。

ご挨拶・ご祝辞



日本商工会議所
会頭
三村 明夫

日本商工会議所青年部第35回東海ブロック大会鈴鹿大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

コロナ禍の長期化に加え、資源価格や原材料価格の高騰、円安等により生産者物価が高騰する中でも、価格転嫁が進んでおらず、中小企業は厳しい経営環境に置かれています。加えて、構造的な人手不足の中、人材確保には賃上げが避けられない状況です。

長年の停滞から変革への大転換期を迎えている中、中小企業が急激な環境変化に対応し生き残るために取り組むべき課題について、3点申し上げます。

第1に、「成長と分配の好循環の実現」です。過度に感染を恐れて自粛するコロナマインドが国民の間に蔓延し、景気回復の足枷となっています。停滞する投資や消費を喚起するためには、コロナマインドからの脱却と、日本の将来に対する不安の払拭が必要です。また、中小企業の賃上げ原資の確保に向けては、生産性向上とあわせて、取引価格の適正化が必要です。商工会議所は、「パートナーシップ構築宣言」の宣言社数のさらなる拡大と実効性確保に努めており、YEGの皆様にも是非宣言していただきたいと思っております。

第2に、「自己変革への挑戦」です。わが国には長寿企業が多く、創業100年超が全企業の1%、世界の長寿企業に占める割合は4割超を占めますが、この多くが中小企業です。激動の時代を生き抜いてきた日本の中小企業の強みは、「自己変革力」だと思います。現在、コロナ禍や物価上昇など外部環境が激変する中、中小企業は生き残りをかけた挑戦を迫られています。

商工会議所は、中小企業のデジタル化による生産性向上や事業再構築、事業承継、創業、越境EC、イノベーション創出等を伴走型で支援しています。YEGの皆様には、商工会議所の経営支援も活用しつつ、自己変革に果敢に挑戦していただきたいと思っております。

第3に、「魅力ある地方創生の推進」です。コロナ禍でテレワークを経験した若者の関心が地方に向き、デジタル技術を駆使することで地方創生を推進する好機を迎えています。官民協働で地域に仕事を創り、生活圏としての地域の価値を高めていく必要があります。また、インバウンド再開による観光需要の本格回復に向けて、地域の観光資源の発掘や磨き上げ、高付加価値化に取り組むことも重要です。

これらの課題解決には、経済の主役である我々民間の力が必要です。とりわけ、次代の地域を担うリーダーであるYEGの先導者たる気概とチャレンジが極めて重要であります。

今年度、西村会長は、「YEG STORY」をスローガンに掲げ、ウィズコロナ時代の豊かな未来を創造するため、積極果敢に事業を展開しています。

全国のYEGメンバーの商品を集めオンラインで地域を超えたビジネスのきっかけを作る「YEGビジネス商談会」、地域を牽引するリーダーを育成する「ビジョナリー・リーダープログラム」、地域の魅力を発信する「広報ブランディング」、新しいビジネスプランの磨き上げを支援する「ビジネスプラン・コンテスト」など、デジタルを積極的に活用しつつ、YEGメンバーのレベルアップに役立つ事業に取り組んでおり、大変心強く感じています。

今年は、日本YEGが創立40周年を迎える記念すべき年ですが、これまで全国各地のOB・現役メンバーが同じ志を持ち、活動してきた歴史を「継(つ)ぎ・紡(つむ)ぎ・繋(つな)げ」、今後も、メンバー自身や自社の成長に加え、地域経済の発展に立ち向かっていただきたいと思っております。

日本商工会議所は本年、創立100周年を迎え、スローガンとして「地域とともに、未来を創る」を掲げています。全国の515商工会議所ならびにYEGの皆様のご挑戦を全力で後押ししますので、ともに強く豊かな日本を再構築し、明るい未来を切り拓いてまいりましょう。

結びに、大会のご成功と、ご参会の皆様のみますますのご発展をお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



令和4年度
日本商工会議所青年部
会長

西村 昭宏

日本商工会議所青年部「第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会」が開催されますことを心よりお喜び申し上げますとともに、本大会を主管されます鈴鹿YEGならびにお支えいただいております三重県商工会議所青年部連合会の皆様のご尽力に心より敬意を表します。一昨年から続く新型コロナウイルスの感染は、落ち着きを見せては再び拡大を繰り返す日々が続いております。そのような中でも開催地鈴鹿YEGメンバーの皆様が決して諦めることなく、これまでの経験を活かし試行錯誤を重ねることで本大会の開催を迎えられたこと、その地域の未来を担うことへの責任感と行動力に主催者として心より感謝申し上げます。

歴史を振り返れば幾度となく、新たな時代へと急激に変化する時代の節目というものがありました。そしていつの時代も、多くの青年たちが時代を切り拓こうと未来への理想を掲げ、新たな一歩を踏み出してきました。時代は今、全世界で未だ猛威を振るう新型コロナウイルス、国際的な秩序を大きく揺るがすウクライナ侵攻、国内では歴史的な円安等による物価高など、私たちを取り巻く経済や生活は新たな時代へと急激な変化を余儀なくされています。

私たちYEGもまた長引くコロナ禍の中、思い描いた活動ができずに苦しんでまいりました。この先の未来、コロナウイルスが無くなることはありません。そしてコロナ禍の前の過去に戻ることもできません。出来ることは「未来を変えること」です。私たちYEGは今変化を求められています。この変革の時だからこそ、私たちはYEGの存在意義とは何か?目指すべき未来とは何か?自企業の発展のために、そして地域の発展のために、今こそYEG活動の在り方を模索し、新たな一歩を踏み出して行かなければなりません。

令和4年度の日本YEGは「YEG STORY」～我ら礎。共に創ろう、継ぎ、紡ぎ、繋げる、未来への道導～をスローガンに掲げ、全国の単会活動の支えとなり単会活動の後押しとなる事業を展開しております。日本YEGは「全ては単会の未来のために」存在しています。コロナ禍で苦しんできた今だからこそ、コロナ禍での新たなYEG活動の在り方を模索し、仲間に寄り添い、地域に寄り添い共に歩んでまいります。日本YEGの事業には全国の単会活動の未来への道導となるヒントが必ず見つかると思っています。今こそ未来への理想を掲げ、共に新たなYEGの物語「YEG STORY」を創り上げてまいりましょう!

結びに、東海ブロック大会の開催に当たり多大なご支援・ご尽力をいただきました鈴鹿商工会議所をはじめ関係各位に心からの敬意を表し、重ねて皆さまの企業・地域の益々の発展と、皆さまのご家族のより良き未来を祈念してご挨拶といたします。



令和4年度
東海ブロック商工会議所
青年部連合会
会長
松林 大樹

日本商工会議所青年部「第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会」の開催にあたり、東海ブロック内はもとより、全国各地よりYEGメンバーの皆様に、三重県は鈴鹿の地にお越しいただき心より歓迎と感謝を申し上げます。また、ご来賓ならびに関係諸団体の皆様におかれましては、ご多用の中ご臨席を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。また、地震災害、豪雨災害により全国各地で被災されたすべての方々に心からお見舞い申し上げるとともに、被災地域の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

私たち東海ブロックYEGは、本年度から碧南YEGの皆さんが新たな仲間に加わり、東海ブロック38単会から39単会へととなり3,500名を超える次代を担うリーダーたちが主役となり活動を続けております。

本年度東海ブロックYEGスローガン“Remove The Limiter ~常識にとらわれない東海39の発想力! 輝く未来を掴む実行力!~”

まさに今、自身のリミッターを取り払い、勇気を出して自分の枠の外へ飛び出しましょう!そこにはきっと、多くの素晴らしい出会いがあり、新たな道が開け、人生がより豊かなものになると私は信じています。

激しく変化する時代の中で、個人の力では解決できないような事でも、私たちには沢山の仲間がいます。お互いを磨きあい高め合えれば、自分にも仲間にも、ひいては地域社会、地域経済にも、より多くの実りがあると確信しております。

結びに、本大会を開催するにあたり多大なご支援・ご協力を賜りました三重県、鈴鹿市、鈴鹿商工会議所をはじめとする関係諸団体・関係各位の皆さまには深く感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



鈴鹿商工会議所
会頭

田中 彩子

日本商工会議所青年部 第35回東海ブロック大会鈴鹿大会が鈴鹿市で開催されますことに、心からご歓迎とお祝いを申し上げます。

また、各商工会議所の青年部の皆様方におかれましては、平素から地域社会の健全な発展の一翼を担っていただいていることに対しまして、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、鈴鹿市は三重県の北部に位置し、戦前は海軍工廠を中心に産業の礎が築かれ、戦後はその広大な施設跡を活かした企業誘致が実り、繊維産業を始め化学・自動車・電機・医薬等の企業が相次いで進出しました。

その後、輸送用機械器具産業を中心に順調な成長を遂げ、今では県内第三位の製造品出荷額を誇る工業都市として発展を続けております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は、3年近く経った今でも予断を許さない状況にあります。経済面では、コロナ禍以前の個人消費の水準には回復しておらず、ロシアによるウクライナ侵攻もあり、海外物流の不安定化、資源・エネルギー価格の高騰並びに円安、さらには、それらに伴う物価上昇など厳しい状況が続いております。

しかし一方で、鈴鹿は広域的な道路網の整備が目に見えて進むなど、人流、物流の両面で大きな転機を迎えております。地域の経済を担う私たち一人ひとりがこうした地域の変化をしっかり捉え、コロナ禍から必ず脱却できるとの思いを強く持って、新たな生活様式に対応した産業のあり方を構築することができれば、地域の経済はより強靱なものとなり、さらなる飛躍が期待できます。

今後とも、地域経済が継続的に発展していくため、当所といたしましても、行政はじめ関係団体との連携を一層緊密にしていりますが、とりわけ青年部の皆様の若い力と柔らかな発想力は何にも増して大きな推進力になると考えております。

結びになりますが、本日ご参加の青年部の皆様方が、これからもそれぞれの地域において益々ご活躍され、次代の商工会議所活動を担う青年経済人として、地域経済の発展に尽力されますこと、また青年部はじめ本大会関係者の皆様方の今後のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



第35回
東海ブロック大会
鈴鹿大会
大会会長

泉 晃多

日本商工会議所青年部 第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会の開催にあたり、東海ブロックYEGメンバーの皆様、OB・OG並びに全国各地よりご参集いただきましたYEGメンバーの皆様、沢山のご登録をいただきまして心より感謝を申し上げます。また、ご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましては、ご多用にも関わらずご参加いただきまして厚く御礼申し上げます。

この度、大会会長を務めさせていただくにあたり、開催地テーマを「Top Speed~次代への舵を取り同志と共にぶっちぎれ~」とさせていただきます。

過去に類を見ない未曾有の事態が続く中、新しい時代はすでに始まっています。我々地域の若き企業家の集まりである東海ブロックYEGが一つになり、先頭を走り全速力でぶっちぎっていくんだという想いを、このスローガンに込めました。

約2年前に実行委員会が立ち上がり大会に向けてスタートしました。準備を進めていく中で、これまでブロック大会を成功に導いてこられた東海ブロックYEGの先輩方そして沢山の同志から、熱く想いのこもった応援をいただいたことが何よりも力となり、鈴鹿YEG一人ひとりが自らの意識を高め一丸となってこれまで取り組むことができました。これこそが受け継がれていくYEGの魂であるのだと確信しております。

今大会では、ぶっちぎりの「学び」と「体験」そして「おもてなし」と3つのコンセプトを掲げ、東海ブロック約3500名の会員の皆さまに、鈴鹿サーキットのモータースポーツをはじめ、美しい山と海、何より人々の温かさをもってこの素晴らしい鈴鹿の魅力を余すことなく感じていただくことを目指して参りました。

まずは徹底した感染症対策を行い、安心安全に参加できる環境を整えることを大前提としました。その上で、分科会では、鈴鹿No.1パワースポットであります椿大神社の散策、1000年の歴史を持つ伊勢型紙の体験、AGF鈴鹿体育館でのステージイベントを含めた大物産展「すずか横丁」、鈴鹿サーキットでのコース内走行、そして大懇親会など鈴鹿の魅力溢れる大会を開催して参ります。

ブロック大会本来の目的は、我々YEGのメンバー同士の交流と研鑽、そして地域経済の発展に繋げることではありますが、さらに「もう一度この鈴鹿を訪れたい。」、そう感じていただくことを目標に、鈴鹿YEG一同、心からのおもてなしをさせていただきます。

そして、我々が第34回東海ブロック大会豊田大会より受け取ったバトンを、次年度開催地であります第36回東海ブロック大会豊橋大会へ、全身全霊をもって繋がさせていただきます。

結びとなりますが、今大会の開催にあたりご協力頂きました日本YEGそして東海ブロックYEGの皆様、鈴鹿商工会議所、OB・OGの諸先輩方を始めとする関係各位の皆様を重ねて心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



令和4年度
鈴鹿商工会議所青年部
会長

岡田 基紀

日本商工会議所青年部 第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会の開催にあたり、東海ブロック38単会の皆様はもとより、日本各地よりお越しく下さいました日本YEGの皆様、そしてこれまでの歴史を創っていただきましたOB・OG会の皆様には鈴鹿商工会議所青年部を代表いたしまして、心より感謝を申し上げます。また、ご来賓ならびに関係諸団体の皆様におかれましては、ご多用の中ご臨席を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

鈴鹿YEGが活動する鈴鹿市は、モータースポーツの街・鈴鹿として日本だけではなく世界にも認知されており、また三重県の中北部に位置し自然豊かな街であり、市のキャッチコピーでは「さあ、きつともつ鈴鹿。海あり、山あり、匠の技あり」と地域資源豊かな街であります。地域の青年経済人として研鑽と交流はもちろん、地域文化に特化した商工業の活性化事業、また長年にわたりモータースポーツ事業を行ってまいりました。

そして、今年度は「繋ぐ」～想いをひとつに次代への創造～をスローガンに掲げ、107名のメンバーと活動しております。コロナ禍で思うように準備活動ができない苦悩の2年間の中で一人ひとりの活動に対する熱意を結集し、東海39単会の皆様の想いを繋ぎ、日々前進することで協調性・行動力・組織力を高め、新しい活動の形、新しい大会の形を創り上げてきました。東海ブロック約3500名の仲間の期待を胸に、今を共にする東海の同志の想いをひとつに交流を図り、研鑽を重ね、どんな状況でも開催できる安心安全な大会として開催させていただきました。

また、平成の時代に主管させていただきました第19回東海ブロック大会鈴鹿大会から16年。歴史を創っていただきました諸先輩方の御言葉・想いも繋がせていただきました。

『おもてなし日本一のYEG!!ようこそ鈴鹿へ』

今大会にご登録・ご参加いただきました東海ブロックYEGの皆様、日本各地からご参集いただきました日本YEGの皆様、そして今大会まで東海ブロック大会の歴史を積み重ねていただきましたOB・OG会の皆様を鈴鹿流のおもてなしで、東海の心をひとつに鈴鹿大会を堪能していただければ幸いです。

今大会を主管させていただきました鈴鹿商工会議所青年部にとって大変意義深い年となりました。この新しい歴史を繋ぎ、常識にとらわれない新しい発想力で耀く未来へ舵を取り、また今大会にお越しく下さいました皆様のお気持ちを糧に鈴鹿商工会議所青年部一同、自企業そして地域の発展の為にTop Speedで邁進してまいります。

結びとなりますが、東海39単会の心をひとつにぶっちぎりの東海ブロック大会鈴鹿大会の開催に多大なご支援とご協力を賜りました鈴鹿市、鈴鹿商工会議所、先輩諸氏をはじめとする関係諸団体、関係各位の皆様にご心から深く感謝申し上げますとともに、皆様の企業と地域の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、歓迎のご挨拶とさせていただきます。



第35回
東海ブロック大会
鈴鹿大会
実行委員長
清水 健太

日本商工会議所青年部 第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会を開催するにあたり、ご多忙中にも関わらず、ご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましては、心から厚く御礼申し上げます。

また、本大会開催に当たり東海ブロックYEGメンバーの皆様、OB・OG、並びに全国各地のYEGメンバーの皆様からの沢山のご登録、そして多大なるご尽力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

今、これまでに経験したことのない、出口の見えない難局に直面しておりますが、答えは必ずあるはずで。その一つひとつの答えを見出すため、2年前に実行委員会を立ち上げました。このような時代だからこそ、我々青年経済人として何ができるのかを同志と共に語り合い、「ぶっちぎり」の大会を目標に、何度も振り出しに戻りながらも答えを模索し続け、今大会に至りました。

その中においても、何より優先されるべきは感染対策だと考えます。受付では、当日お越しいただくすべての皆様に安心してご参加いただけるよう、QRコードを用いた「非接触型」による受付方法を取り入れさせていただきました。また、手ぶらでお越しいただき、手ぶらでお帰りいただくことを目指す等、事前に考えられる万全の対策を講じ、対応させていただきます。

今大会は、開催地テーマに「Top Speed~次代への舵を取り、同志と共にぶっちぎれ~」を掲げ、「学び」、「体験」、「おもてなし」、この3つのコンセプトのもと、鈴鹿の魅力を最大限感じていただける分科会をご用意しております。

また、鈴鹿にお越しいただいたすべての皆様にぶっちぎりの「おもてなし」という思いで、最後のフィナーレを開催させていただきます。普段入る事の出来ない特別な空間でのステージイベントで盛り上がっていただいたり、鈴鹿ならではの料理をご堪能いただいたりと、趣向を凝らした内容となっております。

そして、昨年開催されました第34回東海ブロック大会豊田大会にていただいた沢山の学びと出会い、そして絆を、次年度開催地であります第36回東海ブロック大会豊橋大会へ繋いでいきます。

最後に、今大会開催地テーマの想いを実現させるために共に考え、行動し、時に苦しいことも分かち合い、支え続けていただいた鈴鹿YEGメンバーをはじめ、本大会を開催するまでにご支援、ご協力をいただいた全ての皆様に心から敬意を表すとともに、深く感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



経済産業省
中部経済産業局長

田中 耕太郎

日本商工会議所青年部 第 35 回東海ブロック大会 鈴鹿大会の開催を心からお慶び申し上げます。

本大会の実施に当たりまして、東海ブロック商工会議所青年部連合会の松林会長を始め、関係の皆様のご努力と御熱意に深く敬意を表します。

これまで2年以上に渡り、新型コロナウイルスの感染拡大に対し、幾度となく感染対策と経済活動の両立を模索してまいりました。しかしながら、今後は、我が国においても、欧米のようにウィズコロナ時代の新たな経済・社会活動を進めていくべき時期が来るかもしれません。様々な想定をして、準備をしておくことが重要と思われます。

また、東海地域の主要産業である自動車産業は、いわゆるCASE、MaaS、加えてカーボンニュートラルへの対応など、「100年に一度の大変革期」を迎えています。こうした中で、多くの企業においては、今の仕事でより稼ぐ力を向上させるとともに、将来に向けた新規領域への投資・挑戦や、多様な人材の活躍・育成などの変革を行っていくことが必要不可欠となっています。

今後の当地域の産業を変革していくには、若き経営者である皆様がその担い手としてリーダーシップを発揮していただき、スピード感と実行力をもって挑戦し続けていくことが大変重要です。まさに、今大会のテーマである「Top Speed ～次代への舵を取り、同士とともにぶっちぎれ～」のとおり、活発な交流によりコロナ禍で疎遠となりがちだったネットワークを再び強固に構築し、これからの時代を切り拓いていくべく会員の皆様が時代の先頭に立って地域経済、更には我が国経済をけん引していくことを期待しています。

なお、来たる2025年には、「大阪・関西万博」が未来社会の実験場として開催されます。国内外から約2800万人の来場者を想定しており、「空飛ぶクルマ」を始め最新技術やSDGsを体現した新しい価値観・行動様式を世界に示す絶好の機会となります。中部経済産業局としても、地域の自治体や企業・団体の皆様と連携し、万博来訪者が中部地域へも足を伸ばしてもらえよう、魅力的な観光や消費の仕掛け、効果的なPRを検討・実施してまいります。

最後に、日本商工会議所青年部及び東海ブロック商工会議所青年部連合会の御健勝と益々の御発展を祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。



三重県知事
一見 勝之

日本商工会議所青年部第35回東海ブロック大会鈴鹿大会が、本県鈴鹿市において盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

商工会議所青年部の皆さまにおかれましては、次代を担う青年経済人として、日頃より業種を超えた交流と連携の輪を広げられ、企業の発展と豊かな地域社会の形成を実現するために研究と研鑽に努められていることに深く敬意を表します。

本大会の開催地である鈴鹿市は、自動車産業など数多くの企業を誘致し、伊勢湾岸地域有数の内陸工業都市として発展してきました。また、農業においても、恵まれた豊かな大地であり農業と工業がともに成長した「緑の工都」であるとともに、近年では、国際交流や市民文化の向上に力を入れるなど、産業、経済、文化、市民生活など調和のとれた発展を続けています。東海地方の各地域で活躍されている商工会議所青年部の皆さまが、この鈴鹿市において絆を深め、東海の大きな輪を作り上げることを心より期待いたします。

新型コロナウイルス感染症については、長期化に加え感染者数が急激に増加するなど予断を許さない状況であり、暮らしや経済の先行きが見通せない状況が続いています。また、人々の価値観やライフスタイルの多様化、社会のグローバル化、DXの進展やカーボンニュートラルの実現に向けた動きの加速等、本県や事業者の皆さまを取り巻く時代潮流や社会経済情勢は大きく変化しています。

これら社会の激変を乗り越え、地域産業の振興と地域活性化を進めていくためには、柔軟で常識にとらわれない発想や困難に立ち向かう情熱が必要です。そこで、「常識にとらわれない東海39の発想力! 輝く未来を掴む実行力!」をスローガンとして掲げる東海ブロック商工会議所青年部連合会の担う役割は今後ますます大きくなってまいります。

次代への舵を取る次世代のリーダーとして、幅広い分野において活躍をますます期待するとともに、地域の発展に一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、東海ブロック商工会議所青年部連合会の益々のご発展と会員の皆さまのご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



鈴鹿市長
末松 則子

ようこそ鈴鹿へ。日本商工会議所青年部第35回東海ブロック大会鈴鹿大会が開催されますことをお慶び申し上げますとともに心より歓迎いたします。

若き起業家であります商工会議所青年部の皆様におかれましては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ侵攻による燃油や資材、物価高騰など、経済情勢が不安定な中、積極的な活動によって地域経済の活性化に取り組んでいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

近年、日本では少子高齢化が急速に進み、人々の考え方、働き方や生活スタイルなどが多様化・複雑化している中、青年経済人である皆様が今回の東海ブロック大会鈴鹿大会のテーマのように、熱い想いを持って取り組まれていることは大変心強く、頼もしく感じております。

本市は今年、市制施行80周年という記念すべき年を迎えます。これからの新しい時代には、SDGsやカーボンニュートラル、DXなどの新たな考え方と技術を取り入れていくことが不可欠であることから『『継承×挑戦』の80年 未来に向かって輝け鈴鹿!』のもと、これまでの歴史の中で培われてきた多くの財産を継承し、様々な工夫と挑戦により、鈴鹿市を元気に盛り上げています。

将来にわたって持続可能な地域社会を形成していくためには、皆様との連携は欠かすことができません。今後も本市の魅力を発信し続けることができるよう、お力添えをよろしく願い申し上げます。

また、本市は三重県北中部に位置し、伊勢湾から鈴鹿山脈まで、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた暮らしやすいまちです。国際レーシングコースである鈴鹿サーキットでは、F1日本グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースが開催されるなどモータースポーツの聖地として世界的にも知られています。今大会の分科会では、モータースポーツの魅力を体感するものや、伝統産業である伊勢型紙・鈴鹿墨などの文化に触れていただくプラン等も用意されていますので、この機会にぜひ、本市ならではの地域資源に触れ、思い出に残る時間を過ごしていただきたいと存じます。

結びに、日本商工会議所青年部のますますのご発展と鈴鹿YEGの皆様、東海ブロック商工会議所青年部連合会の皆様のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。



令和4年度
東海商工会議所連合会
会長

山本 亜土

日本商工会議所青年部第35回東海ブロック大会鈴鹿大会が、東海ブロック商工会議所青年部連合会、日本商工会議所青年部、鈴鹿商工会議所青年部の皆様のご尽力により、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

次世代を担う皆様が、青年部の活動を通じて、経営者・後継者としての資質向上や相互交流を図り、地域経済の健全な発展ならびに豊かな地域社会構築の牽引役として活躍されていることを、大変頼もしく感じています。

さて、我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中で、原油や原材料価格の高騰による物価上昇も相俟って、厳しい環境におかれています。ウィズコロナを前提としながら、実効性のある感染防止対策・景気対策のもと、経済・社会活動が一刻でも早く活発化することを切望しております。

鈴鹿市は、東に伊勢湾を臨み、西に鈴鹿山脈を背負う、自然豊かな地域であるとともに、自動車産業を中心とした工業都市という側面も併せ持っています。

また、F1の日本グランプリやオートバイの鈴鹿8耐など数多くの国際・国内レースが開催され、モータースポーツの聖地とも言われる鈴鹿サーキットを有する観光都市でもあり、産業・自然・スポーツ・文化等、多彩な魅力を持つ街です。

今年の大会では、『「Top Speed」～次代への舵を取り、同志と共にぶっちぎれ!～』をテーマに運営されるとのことです。この機会に、若い経営者のエネルギーをぶつけ合いながら、切磋琢磨して学び、更には本大会で得たネットワークを活用し、当地経済ひいては我が国の経済の活性化に貢献していただきたいと存じます。

最後に、この大会の開催にあたり多大なるご尽力を頂きました鈴鹿商工会議所青年部の皆様に深く敬意を表しますと共に、関係各位の益々のご活躍を心から祈念して、お祝いの言葉と致します。

ご来賓名簿

所属/団体等名称	役職	氏名
中部経済産業局	局長	田中耕太郎
三重県	知事	一見勝之
鈴鹿市	市長	末松則子
衆議院	議員	中川正春
衆議院	議員	川崎秀人
参議院	議員	吉川ゆうみ
参議院	議員	山本佐知子
三重県議会	議員	下野幸助
三重県議会	議員	平畑武
三重県議会	議員	藤田宜三
鈴鹿市議会	議長	宮木健
鈴鹿市	教育長	廣田隆延
鈴鹿市立幼小中学校園長会	会長	堀之内宏行
鈴鹿ロータリークラブ	会長	長谷川照義
鈴鹿ライオンズクラブ	会長	白木彰
鈴鹿市商業団体連合会	会長	岩途戸公夫
一般社団法人鈴鹿青年会議所	理事長	岡田篤典
一般社団法人鈴鹿市観光協会	専務理事	岡本隆典
鈴鹿市産業振興部	部長	樋口幸人
三重県商工会議所連合会	会長	種橋潤治
三重県商工会議所連合会	専務理事	喜多正幸
亀山商工会議所	会頭	岩佐憲治
鈴鹿商工会議所	会頭	田中彩子
鈴鹿商工会議所	副会頭	吉澤茂
鈴鹿商工会議所	副会頭	田中久司
鈴鹿商工会議所	副会頭	坂口博文
鈴鹿商工会議所	専務理事	内藤俊樹
鈴鹿商工会議所	事務局長	山口一彦
鈴鹿商工会議所女性部	会長	日置尚代

大会・式典プログラム

東海ブロック商工会議所青年部連合会 会員総会・会長会議

開催日	令和4年9月2日(金)	三 役 会	8:50～9:20
開催場所	コンフェット鈴鹿平安閣	役員会受付	9:00～
		役員会	9:30～10:30
		会員総会受付	10:00～
		会員総会	11:00～13:30
		第2分科会	12:45～15:30
		会長会議	14:00～16:30
		前泊者懇親会	17:00～19:00
		ナイトエクスカッション	20:00～ 近鉄平田町駅界限

第35回東海ブロック大会鈴鹿大会(ハイブリット開催)

開催日	令和4年9月3日(土)	受付時間	9:30～
式典会場	メイン会場 イスのサンケイホール鈴鹿	記念式典	10:30～12:25 メイン会場:イスのサンケイホール鈴鹿 サテライト会場:AGF鈴鹿体育館 正体育館
	サテライト会場 AGF鈴鹿体育館 正体育館	分科会	14:00～17:45 鈴鹿市内各所
		大物産展	12:30～16:30 AGF鈴鹿体育館 正体育館
		OBサロン	15:00～17:00 鈴鹿サーキットVIPスイート・プレミアム
		大懇親会	18:00～20:00 鈴鹿サーキット:ホスピタリティラウンジ

開会宣言

国歌「君が代」斉唱

商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」斉唱

「綱領」朗読・「指針」唱和

主催者代表挨拶

東海ブロック商工会議所青年部連合会 会長

日本商工会議所青年部 会長

日本商工会議所 会頭

開催地挨拶

東海ブロック大会鈴鹿大会 大会会長

鈴鹿商工会議所 会頭

来賓祝辞

経済産業省 中部経済産業局長

三重県知事

鈴鹿市長

来賓紹介

令和5年度東海ブロック商工会議所青年部連合会 会長予定者発表

令和5年度第36回東海ブロック大会開催地発表

ブロック旗伝達式

令和5年度第36回東海ブロック大会開催地PR

令和4年度第40回全国会長研修会「笑売繁盛 喜多大阪会議」PR

令和4年度第42回全国大会「美の国 あきた大会」PR

閉会宣言

参加者/東海ブロック内商工会議所青年部会員・OB会員及び商工会議所役職員・日本商工会議所青年部・他団体

※ソーシャルディスタンスを保つ為 会場を2ヶ所に分け、メイン式典会場の様子をサテライト会場スクリーンへ中継します。

大物産展

時間/12:30～16:30

場所/AGF鈴鹿体育館 正体育館

対象者/参加者全員

内容/大物産展

鈴鹿の魅力溢れる飲食ブース、物産ブース、癒しのマッサージブース等を約20ブースご用意します。1,000円分のクーポン券を配布し、大物産展にて昼食やお土産の購入にご利用できるとともに、分科会と大懇親会に向け、旅路の疲れを癒していただきます。

分科会

おもてなしプラン

すずか横丁
～食と癒しと祭りの街～

第1分科会



時 間：14:00～16:30
場 所：AGF鈴鹿体育館 正体育館
内 容：鈴鹿の魅力溢れる物産ブースをそのままに、鈴鹿で盛り上がりを見せる「よさこい」を始めとするステージイベントも満載です。鈴鹿の魅力を余すことなく、見て、食べて、肌で感じていただけます。
定 員：880名～

大会進行	10:30～12:25 記念式典	移動	12:30～14:00 大物産展	14:00～16:30 第1分科会 (すずか横丁)	移動	18:00～20:00 大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿 (AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館			鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

アクティブプラン

カートアタックGP!
～Top Speedで走り抜け!～

第2分科会



Act.1 カートレース

日 時：9月2日(金) 12:45～15:30
場 所：モーターランド鈴鹿
内 容：臨場感MAXの本格レース場でのカートレース大会!東海ブロックYEGの最速王決定戦を行います。

Act.2 クルーズバス体験

日 時：9月3日(土) 17:00～17:45(送迎バス片道25分)
場 所：鈴鹿サーキット(国際レーシングコース)
内 容：クルーズバス走行にて鈴鹿サーキット(国際レーシングコース)を堪能していただけます。
参加人数：40名
登録料：3,000円

Act 1 大会進行	12:45～15:30 第2分科会 (カートレース)	移動	17:00～19:00 表彰式	移動	20:00～ ナイト エクスカージョン
会場	モーターランド 鈴鹿		すし居酒屋 湊		近鉄平田町駅 界限

Act 2 大会進行	10:30～12:25 記念式典	移動	12:30～16:30 大物産展	移動	17:00～17:45 第2分科会 (クルーズバス)	移動	18:00～20:00 大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿 (AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館		鈴鹿サーキット		鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

アクティブプラン

マイカーランGP!
～世界に誇るサーキットでぶっちぎれ!～

第3分科会



時 間：15:30～17:45(送迎バス片道25分)
場 所：鈴鹿サーキット(国際レーシングコース)
内 容：【マイカーラン及びピットビル見学】
世界に誇る鈴鹿サーキット(国際レーシングコース)をご自分の車で走行し、コース内の勾配、コーナリング、風景などを目で見て音で聞いて肌で感じていただきます。また、鈴鹿サーキットの魅力を探りし、普段入る事の出来ない管制塔やサーキットの歴史を知ることのできるピットビル見学を行います。

参加人数：40名

大会 進行	10:30～12:25	移動	12:30～14:30	移動	15:30～17:45	移動	18:00～20:00
	記念式典		大物産展		第3分科会 (マイカーラン)		大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿 (AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館		鈴鹿サーキット		鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

アクティブプラン

eモータースポーツGP!
～GRAN TURISMO最強プレイヤーは誰だ!～

第4分科会



時 間：14:00～16:00
場 所：AGF鈴鹿体育館 正体育館
内 容：【eモータースポーツ体験】
プレイステーショングランツーリスモのシミュレーター機を使用し、フォーミュラカーによる鈴鹿サーキット国際レーシングコースにて東海ブロックYEG eモータースポーツ最強プレイヤー決定戦を行います。また、本格的なeモータースポーツを感じていただく為、実況を交えながらスクリーンに投影します。

参加人数：56名

登録料：1,000円

大会 進行	10:30～12:25	移動	12:30～14:00	移動	14:00～16:00	移動	18:00～20:00
	記念式典		大物産展		第4分科会 (eモータースポーツ)		大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿 (AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館				鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

ラーニングプラン

世界に羽ばたく酒蔵を知る
～唯一無二のブランディングカ～

第5分科会



時 間：14:30～16:30(送迎バス片道15分)
場 所：清水清三郎商店株式会社
内 容：日本酒「作」の酒蔵見学及び講話
講 師：清水清三郎商店株式会社

代表取締役 清水 慎一郎 氏

伊勢志摩サミットにも使用された鈴鹿が世界に誇る日本酒「作」を醸造する清水清三郎商店の酒蔵を見学すると共に世界に通用するまでのストーリーをご講話いただきます。

参加人数：40名

大会 進行	10:30～12:25	移動	12:30～14:00	移動	14:30～16:30	移動	18:00～20:00
	記念式典		大物産展		第5分科会 (酒蔵見学)		大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿 (AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館		清水清三郎商店		鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

ラーニングプラン

1000年受け継がれる
伝統工芸を知る
～永続の秘密～

第6分科会



時 間：14:30～16:30(送迎バス片道10分)
場 所：鈴鹿市伝統産業会館
内 容：鈴鹿の伝統工芸「伊勢型紙」体験及び歴史について講話
講 師：伊勢型紙協同組合 理事長 小林 満 氏

経済人としての責務とは永続であります。この鈴鹿の地にて、1000年もの歴史のある伝統工芸伊勢型紙を実際に型紙体感していただけます。更に、その歴史を知ることにより、自社の永続へのヒントとしていただけます。

参加人数：40名

大会 進行	10:30～12:25	移動	12:30～14:00	移動	14:30～16:30	移動	18:00～20:00
	記念式典		大物産展		第6分科会 (伊勢型紙)		大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿 (AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館		鈴鹿市伝統産業会館		鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

ラーニングプラン

鈴鹿No.1パワースポット巡り
～運氣向上!繁栄へのきっかけ～

第7分科会



時 間：14:30～16:45(片道50分)
場 所：樫大神社(つばきおおかみやしる)
内 容：樫大神社の散策・御祈祷・茶室体験
鈴鹿で最も歴史のある神秘的な社、樫大神社にて歴史やそれぞれのもつ意味をご説明いただきながら散策しご祈祷を受けていただきます。また、経営の神様と言われる実業家、「松下幸之助翁」より寄進された茶室(鈴松庵)、松下幸之助社があり、経営者としての品位と精神を感じていただきます。

参加人数：60名

大会進行	10:30～12:25	移動	12:30～13:30	移動	14:20～16:45	移動	18:00～20:00
	記念式典		大物産展		第7分科会(樫大神社)		大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿(AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館		樫大神社		鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

おもてなしプラン

プレミアムOBサロン
～特別な時間をとらると～

第8分科会



時 間：15:00～17:00(片道25分)
場 所：鈴鹿サーキット VIPスイート・プレミアム
内 容：VIPスイート・プレミアムにて懇親会
通常、簡単に入る事の許されない鈴鹿ならではのラウンジにてレース観戦をしながら特別な御料理を魅力あるお酒と共に、アトラクションを交えお楽しみいただけます。

参加人数：100名
登録料：10,000円

大会進行	10:30～12:25	移動	12:30～14:15	移動	15:00～17:00	移動	18:00～20:00
	記念式典		大物産展		第8分科会(OBサロン)		大懇親会
会場	イスのサンケイホール鈴鹿(AGF鈴鹿体育館)		AGF 鈴鹿体育館		鈴鹿サーキット VIPスイート・プレミアム		鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ

大懇親会

時 間：18:00～20:00
※送迎バスAGF鈴鹿体育館16:15発(片道25分)
場 所：鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ
対 象 者：参加者全員
内 容：第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会 大懇親会
「Top Speed」で作上げてきた、東海ブロック大会鈴鹿大会のフィナーレを飾る大懇親会では、鈴鹿YEGらしき溢れる「ぶっちぎり」のおもてなしをさせていただきます。人と人との繋がりを大いに広げ、確かめ合い、「連帯の証」を深め、東海ブロックYEGを一つの輪に繋がります。

※新型コロナウイルス感染症拡大措置などの社会情勢により、内容が変更になる場合がございます。

日本YEG 役員・専門委員名簿

役 職	氏 名	所属県連名	所属単会名
会長	西村 昭宏	福井	鯖江
直前会長	吉川 正明	静岡	沼津
筆頭副会長(組織活性化委員会担当)	木村 麻子	香川	高松
副会長(東地区・国際ビジネス委員会担当)	皆見 貞康	茨城	土浦
副会長(中地区・ビジネス活性化委員会担当)	辻 覚	石川	加賀
副会長(西地区・企画委員会担当)	水野 貴博	大分	大分
専務理事	中村 守	奈良	奈良
専務理事補佐(政策提言委員会担当)	山下 壱平	佐賀	鳥栖
常務理事(研修委員会担当)	本江 択	富山	砺波
常務理事(ビジョン委員会担当)	小野 知一郎	石川	小松
常務理事(総務委員会担当)	梅内 まみ	岐阜	美濃加茂
常務理事(広報プランニング委員会担当)	宮崎 映行	長崎	佐世保
特命理事(DX担当)	山中 白	岐阜	関
特命理事(危機管理ブロック連携担当)	福森 康郎	宮崎	小林
北海道ブロック代表理事	串橋 郁緑	北海道	留萌
東北ブロック代表理事	阿部 眞喜	宮城	塩釜
関東ブロック代表理事	高橋 大輔	栃木	栃木
北陸信越ブロック代表理事	柳澤 由英	長野	長野
東海ブロック代表理事	松林 大樹	三重	鈴鹿
近畿ブロック代表理事	横田 圭亮	和歌山	田辺
中国ブロック代表理事	澁谷 彰範	広島	廿日市
四国ブロック代表理事	横山 高幸	高知	須崎
九州ブロック代表理事	仲宗根 清二	沖縄	宮古島
監事	大日方 敢	長野	長野
監事	田中 宏直	福井	大野
相談役	米良 充朝	宮崎	宮崎
代表理事	山本 秀也	北海道	小樽
代表理事	中村 好孝	青森	弘前
代表理事	渡邊 和真	岩手	北上
代表理事	清川 晋	宮城	仙台
代表理事	岡 泰造	秋田	秋田
代表理事	行方 進之介	山形	米沢
代表理事	神野 聴文	福島	二本松
代表理事	本間 恒弘	茨城	日立
代表理事	木嶋 孝太	栃木	鹿沼
代表理事	新部 貴広	群馬	館林
代表理事	田澤 暁	埼玉	蕨
代表理事	吉野 孝次	千葉	柏
代表理事	柴田 健介	神奈川	大和
代表理事	石川 靖	静岡	三島
代表理事	武者 寛	新潟	亀田
代表理事	吉田 康之	富山	滑川
代表理事	田嶋 孝行	石川	加賀
代表理事	笠原 博人	長野	下諏訪
代表理事	水野 義治	岐阜	高山
代表理事	楠名 康弘	愛知	岡崎

役 職	氏 名	所属県連名	所属単会名
代表理事	樋口 信吾	三重	上野
代表理事	未永 ちさと	福井	鯖江
代表理事	森川 敦士	滋賀	草津
代表理事	大西 修一	京都	亀岡
代表理事	大東 正明	大阪	大東
代表理事	大黒 淳史	兵庫	赤穂
代表理事	當麻 臣宣	奈良	大和高田
代表理事	阪本 琢磨	和歌山	御坊
代表理事	長谷川 裕通	鳥取	倉吉
代表理事	堰 大輔	島根	松江
代表理事	角井 健二	岡山	総社
代表理事	牧尾 和志	広島	東広島
代表理事	滝本 晋太郎	山口	柳井
代表理事	岡本 忠晃	徳島	阿南
代表理事	瀬尾 武	香川	高松
代表理事	原 竜也	愛媛	今治
代表理事	三谷 剛平	高知	高知
代表理事	井上 智博	福岡	八女
代表理事	古川 健太郎	佐賀	小城
代表理事	吉田 敦彦	長崎	佐世保
代表理事	松木 翔平	熊本	人吉
代表理事	和氣 浩一郎	大分	宇佐
代表理事	大平 雅博	宮崎	宮崎
代表理事	厚石 和宏	鹿児島	枕崎
代表理事	横山 昌司	沖縄	宮古島
総務委員長	齋藤 健太郎	秋田	大曲
総務委員会 副委員長	稲野辺 久智	茨城	水戸
総務委員会 副委員長	仲嶋 正起	奈良	橿原
総務委員会 副委員長	西山 太一郎	宮崎	宮崎
総務委員会 運営幹事	高根 いずみ	秋田	大曲
総務委員会	今村 仁泰	北海道	稚内
総務委員会	齊藤 義成	岩手	盛岡
総務委員会	山本 郷	岩手	一関
総務委員会	鈴木 優介	秋田	秋田
総務委員会	石原 毅	群馬	伊勢崎
総務委員会	松永 真吾	埼玉	さいたま
総務委員会	杉澤 教人	静岡	沼津
総務委員会	佐久間 哲平	新潟	五泉
総務委員会	中西 一夫	富山	砺波
総務委員会	飯田 崇義	石川	小松
総務委員会	園 昇	福井	鯖江
総務委員会	村田 昌弥	京都	城陽
総務委員会	三好 里美	大阪	北大阪
総務委員会	釜谷 誠	奈良	奈良
総務委員会	北 幸一郎	広島	福山
総務委員会	谷口 守	広島	東広島

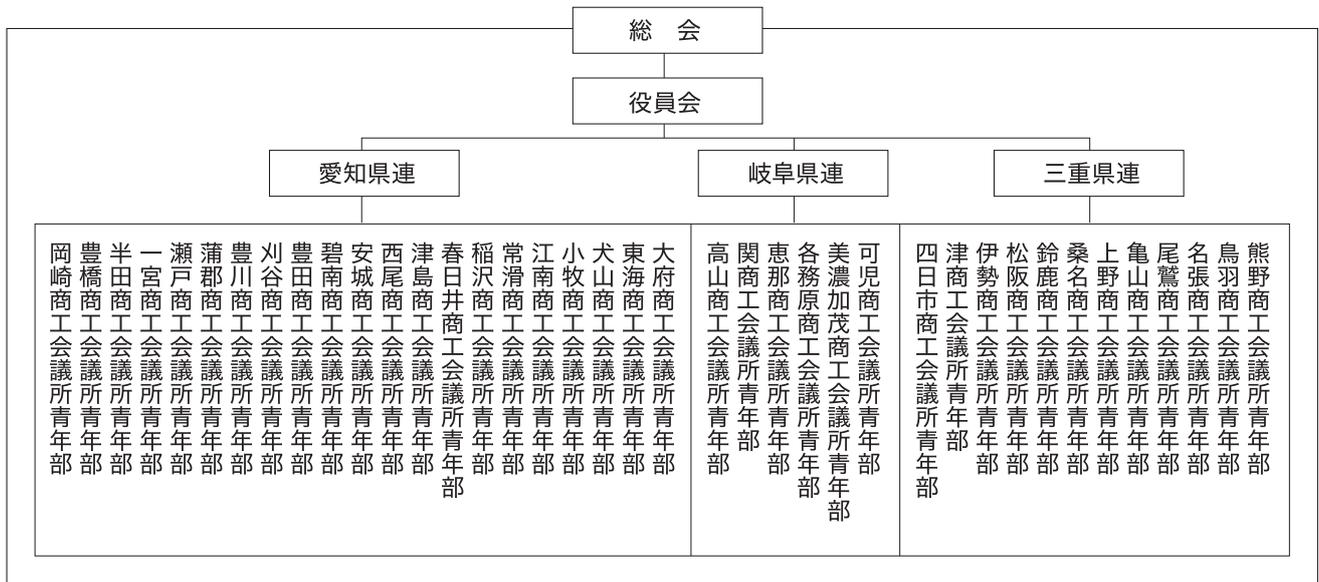
役 職	氏 名	所属県連名	所属単会名
総務委員会	木内 崇	徳島	徳島
総務委員会	古里 健一	徳島	阿南
総務委員会	日和崎 守	高知	高知
広報ブランディング委員長	鈴木 章仁	宮崎	日向
広報ブランディング委員会 副委員長	鈴木 克和	静岡	島田
広報ブランディング委員会 副委員長	戸田 恒也	京都	宮津
広報ブランディング委員会 副委員長	森 麻理子	奈良	奈良
広報ブランディング委員会 副委員長	松井 義博	福岡	久留米
広報ブランディング委員会 運営幹事	山田 育郎	福井	大野
広報ブランディング委員会 会計幹事	黒木 敏史	宮崎	高鍋
広報ブランディング委員会	田中 秀範	秋田	能代
広報ブランディング委員会	沼倉 佑亮	秋田	湯沢
広報ブランディング委員会	田中 一善	千葉	流山
広報ブランディング委員会	蓮池 正雄	石川	白山
広報ブランディング委員会	仰木 香り	愛知	岡崎
広報ブランディング委員会	大坪 久乃	愛知	安城
広報ブランディング委員会	増田 悠二	福井	福井
広報ブランディング委員会	砂田 雅也	福井	敦賀
広報ブランディング委員会	片山 恵都子	大阪	吹田
広報ブランディング委員会	檉 百合子	大阪	北大阪
広報ブランディング委員会	古市 聖一郎	岡山	岡山
広報ブランディング委員会	中西 充	岡山	倉敷
広報ブランディング委員会	鳥越 直之	岡山	津山
広報ブランディング委員会	神原 志帆	広島	福山
広報ブランディング委員会	水谷 太一	高知	高知
企画委員長	菊池 孝一	青森	五所川原
企画委員会 副委員長	齋藤 晃史	青森	むつ
企画委員会 副委員長	若菜 克友	栃木	栃木
企画委員会 副委員長	堀 鼓多呂	石川	小松
企画委員会 副委員長	古谷 正樹	広島	廿日市
企画委員会 運営幹事	鈴木 哲	岩手	一関
企画委員会 副運営幹事	伊藤 敬	岩手	盛岡
企画委員会 副運営幹事	佐藤 新一	秋田	秋田
企画委員会 副運営幹事	佐々木 孝介	岐阜	恵那
企画委員会	近藤 修弘	北海道	小樽
企画委員会	村上 和洋	福島	郡山
企画委員会	長沼 良二	群馬	富岡
企画委員会	佐藤 浩由	静岡	三島
企画委員会	関原 範之	富山	射水
企画委員会	徳田 裕也	石川	白山
企画委員会	山崎 年起	長野	長野
企画委員会	三輪 昌輝	愛知	豊橋
企画委員会	倉橋 豊	福井	武生
企画委員会	荒武 宗利	大阪	北大阪
企画委員会	森 貴行	大阪	和泉
企画委員会	藤井 孝幸	広島	広島
企画委員会	小野又 治伸	山口	山陽
企画委員会	森 洋貴	徳島	阿南
企画委員会	泉 卓文	高知	高知
企画委員会	高木 潤一	福岡	久留米
研修委員長	松園 広樹	大阪	守口門真
研修委員会 副委員長	国府田 俊輔	埼玉	さいたま
研修委員会 副委員長	間嶋 真正	岐阜	各務原
研修委員会 副委員長	有富 博英	愛知	春日井
研修委員会 事務幹事	藤野 道子	愛知	半田

役 職	氏 名	所属県連名	所属単会名
研修委員会 運営幹事	岩崎 拓也	兵庫	相生
研修委員会	今野 辰哉	福島	郡山
研修委員会	横山 竜太	群馬	太田
研修委員会	山本 良彦	埼玉	上尾
研修委員会	高久 直輝	神奈川	平塚
研修委員会	杉森 賢二	静岡	沼津
研修委員会	神戸 龍馬	静岡	島田
研修委員会	山本 剛	静岡	藤枝
研修委員会	田中 七海	富山	富山
研修委員会	平井 敏哉	石川	小松
研修委員会	奥田 圭三	石川	輪島
研修委員会	阿知和 司	愛知	岡崎
研修委員会	井上 賀雄	福井	小浜
研修委員会	谷口 実	京都	京都
研修委員会	古川 卓志	大阪	北大阪
研修委員会	米田 信行	大阪	箕面
研修委員会	高垣 創	広島	広島
研修委員会	藪田 健一	広島	福山
研修委員会	岸 洋平	福岡	久留米
研修委員会	植松 将志	長崎	諫早
研修委員会	中野 佑紀	宮崎	宮崎
国際ビジネス委員長	具志堅 辰雄	沖縄	浦添
国際ビジネス委員会 副委員長	細谷 貴志	茨城	水戸
国際ビジネス委員会 副委員長	加藤 元康	愛知	豊田
国際ビジネス委員会 副委員長	井上 治朗	熊本	熊本
国際ビジネス委員会 会計幹事	渡慶次 佳朗	沖縄	那覇
国際ビジネス委員会 運営幹事	青木 大海	香川	高松
国際ビジネス委員会 運営幹事補佐	西山 峻史	石川	加賀
国際ビジネス委員会 運営幹事補佐	高森 晃永子	愛知	一宮
国際ビジネス委員会	近藤 陽介	青森	五所川原
国際ビジネス委員会	千葉 拓哉	宮城	古川
国際ビジネス委員会	柴沼 秀篤	茨城	土浦
国際ビジネス委員会	中村 香織	千葉	柏
国際ビジネス委員会	岩城 慶太郎	石川	珠洲
国際ビジネス委員会	井上 晴彦	愛知	常滑
国際ビジネス委員会	山川 大輔	三重	松阪
国際ビジネス委員会	山浦 成暁	福井	福井
国際ビジネス委員会	上出 貴之	福井	鯖江
国際ビジネス委員会	金村 浩美	京都	京都
国際ビジネス委員会	山本 員輝	京都	亀岡
国際ビジネス委員会	難波 泰明	大阪	北大阪
国際ビジネス委員会	築澤 芳郎	岡山	岡山
国際ビジネス委員会	鳥越 紀男	岡山	井原
国際ビジネス委員会	岡田 祥平	広島	福山
国際ビジネス委員会	田中 誠一	山口	防府
国際ビジネス委員会	北島 誠祐	徳島	徳島
国際ビジネス委員会	西 勲和	福岡	久留米
国際ビジネス委員会	宮崎 孝太	宮崎	宮崎
ビジネス活性化委員長	寺脇 貴浩	埼玉	上尾
ビジネス活性化委員会 副委員長	守川 雷太	宮城	仙台
ビジネス活性化委員会 副委員長	近藤 誠利	千葉	市川
ビジネス活性化委員会 副委員長	森 福弘	長崎	諫早
ビジネス活性化委員会 運営幹事	中村 将成	岐阜	各務原
ビジネス活性化委員会	宮本 龍次	宮城	塩釜
ビジネス活性化委員会	野田 光平	秋田	大館

役 職	氏 名	所属県連名	所属単会名
ビジネス活性化委員会	田沼 健太郎	群馬	伊勢崎
ビジネス活性化委員会	木下 竜也	埼玉	さいたま
ビジネス活性化委員会	長谷川 巧一	神奈川	相模原
ビジネス活性化委員会	池谷 隆	静岡	藤枝
ビジネス活性化委員会	朝岡 徹	富山	富山
ビジネス活性化委員会	氷見 慎司	富山	射水
ビジネス活性化委員会	辻 祐基	石川	加賀
ビジネス活性化委員会	山田 修平	岐阜	関
ビジネス活性化委員会	松崎 礼子	愛知	岡崎
ビジネス活性化委員会	豊田 元洋	三重	亀山
ビジネス活性化委員会	山崎 武士	福井	福井
ビジネス活性化委員会	香川 真紀	福井	敦賀
ビジネス活性化委員会	若泉 統一郎	福井	鯖江
ビジネス活性化委員会	松本 慎太郎	京都	城陽
ビジネス活性化委員会	西端 政博	大阪	泉大津
ビジネス活性化委員会	藤井 正嗣	大阪	八尾
ビジネス活性化委員会	田中 丈浩	大阪	北大阪
ビジネス活性化委員会	木田 泰正	岡山	倉敷
ビジネス活性化委員会	秋山 尚太	岡山	総社
ビジネス活性化委員会	河田 秀浩	広島	福山
ビジネス活性化委員会	奥山 諭	愛媛	松山
ビジネス活性化委員会	井形 宏隆	福岡	大牟田
ビジネス活性化委員会	松浦 龍次郎	宮崎	宮崎
組織活性化委員長	岡部 純二	愛媛	松山
組織活性化委員会 副委員長	桑山 隆志	静岡	静岡
組織活性化委員会 副委員長	細川 正人	福井	福井
組織活性化委員会 副委員長	新宅 和彦	大阪	吹田
組織活性化委員会 副委員長	入江 亜姫	香川	善通寺
組織活性化委員会 事務会計幹事	岩根 えり子	秋田	横手
組織活性化委員会 運営幹事	寺地 咲子	静岡	沼津
組織活性化委員会 運営幹事	小西 清誉	福井	敦賀
組織活性化委員会	須藤 晃平	秋田	秋田
組織活性化委員会	大関 健一	茨城	土浦
組織活性化委員会	監物 優	茨城	古河
組織活性化委員会	堀越 丈礼	群馬	館林
組織活性化委員会	田中 宏一	埼玉	熊谷
組織活性化委員会	香川 健太郎	千葉	船橋
組織活性化委員会	吉田 茂司	東京	町田
組織活性化委員会	服部 和雄	新潟	十日町
組織活性化委員会	坂上 隆司	新潟	加茂
組織活性化委員会	折坂 和也	石川	輪島
組織活性化委員会	福岡 創	愛知	豊田
組織活性化委員会	鶉飼 健司	愛知	春日井
組織活性化委員会	上本 悟志	福井	鯖江
組織活性化委員会	櫻井 壮一	大阪	北大阪
組織活性化委員会	大東 郁希朗	大阪	箕面
組織活性化委員会	犬伏 裕希	奈良	奈良
組織活性化委員会	大城 規史	和歌山	和歌山
組織活性化委員会	下岸 宏靖	広島	広島
組織活性化委員会	杉原 広昭	広島	福山
組織活性化委員会	友野 貴之	福岡	久留米
組織活性化委員会	富樫 雅道	北海道	帯広
政策提言委員会 副委員長	杉澤 克久	静岡	三島
政策提言委員会 副委員長	長谷川 貴志	新潟	加茂
政策提言委員会 副委員長	伊藤 祐尚	愛知	豊橋

役 職	氏 名	所属県連名	所属単会名
政策提言委員会 運営幹事	安保 真弘	北海道	恵庭
政策提言委員会	石川 玲司	北海道	網走
政策提言委員会	中居 利文	北海道	稚内
政策提言委員会	鈴木 圭一	北海道	石狩
政策提言委員会	渡邊 能宏	宮城	仙台
政策提言委員会	安田 信達	群馬	桐生
政策提言委員会	三井 康弘	東京	町田
政策提言委員会	坂井 邦弘	新潟	五泉
政策提言委員会	丸中 耐	富山	高岡
政策提言委員会	松山 典裕	石川	小松
政策提言委員会	木村 憲彦	愛知	一宮
政策提言委員会	浜島 崇	愛知	豊田
政策提言委員会	朝田 健一	福井	福井
政策提言委員会	青山 孝司	滋賀	八日市
政策提言委員会	土藏 浩嗣	大阪	北大阪
政策提言委員会	村上 武史	大阪	大東
政策提言委員会	坂本 裕太	島根	出雲
政策提言委員会	三浦 啓次	広島	福山
政策提言委員会	大庭 剛	山口	山口
政策提言委員会	流石 学	香川	坂出
政策提言委員会	仲 貴教	福岡	久留米
政策提言委員会	松永 猛詞	熊本	熊本
政策提言委員会	牟田 礎麗	宮崎	小林
ビジョン委員長	吉田 昌宜	福岡	久留米
ビジョン委員会 副委員長	中川 誠	群馬	伊勢崎
ビジョン委員会 副委員長	前田 武彦	福井	武生
ビジョン委員会 副委員長	小林 政嗣	広島	福山
ビジョン委員会 事務幹事	清水 亮佑	埼玉	さいたま
ビジョン委員会 事務幹事	和田 員之	京都	舞鶴
ビジョン委員会 事務幹事	東 大智	長崎	諫早
ビジョン委員会	尾越 亮介	北海道	釧路
ビジョン委員会	小嶋 英嗣	青森	五所川原
ビジョン委員会	呉宮 和樹	秋田	秋田
ビジョン委員会	吉田 一成	福島	郡山
ビジョン委員会	桑原 務	茨城	下館
ビジョン委員会	安蒜 猛	千葉	柏
ビジョン委員会	神子島 真	新潟	燕
ビジョン委員会	木村 広	富山	射水
ビジョン委員会	高岡 芳樹	富山	黒部
ビジョン委員会	清水 宏司	石川	七尾
ビジョン委員会	熊木 宏行	長野	長野
ビジョン委員会	林 啓介	愛知	豊橋
ビジョン委員会	山下 晃平	愛知	豊田
ビジョン委員会	菊 祥行	福井	福井
ビジョン委員会	亀岡 健太郎	大阪	北大阪
ビジョン委員会	三柴 大輔	大阪	箕面
ビジョン委員会	田原 典郎	徳島	阿波池田
ビジョン委員会	平田 将士	熊本	玉名
ビジョン委員会	平良 美和	沖縄	浦添
全国大会担当理事	吉川 裕太	秋田	秋田
全国会長研修会担当理事	南條 範秀	大阪	北大阪

東海ブロックYEG 組織図



東海ブロックYEG 役員名簿

東海ブロックYEG役職	日本YEG役職	県連役職	氏名	所属県連	所属単会
会長	東海ブロック代表理事		松林 大樹	三重	鈴鹿
直前会長			寺田 昌史	愛知	豊田
筆頭副会長		理事	林 啓介	愛知	豊橋
副会長		会長	岩崎 洋平	愛知	豊田
副会長		会長	松林 良太	岐阜	高山
副会長	三重県連代表理事	会長	樋口 信吾	三重	上野
専務理事			望月 卓透	三重	鈴鹿
理事	愛知県連代表理事	直前会長	楠名 康弘	愛知	岡崎
理事		副会長	平出 高浩	愛知	小牧
理事		顧問	島岡 亮司	愛知	大府
理事	岐阜県連代表理事	理事	水野 義治	岐阜	高山
理事		副会長	森 大地	岐阜	関
理事		副会長	古田 智裕	岐阜	可児
理事		副会長	渡邊 博栄	岐阜	美濃加茂
理事		理事	後藤 秀明	岐阜	恵那
理事			志賀 一鉄	三重	上野
理事			青 直樹	三重	亀山
理事			角谷 樹大	三重	松阪
監事		相談役	伊藤 準	愛知	江南
監事		直前会長	栗田慎之介	岐阜	恵那
顧問	常務理事		梅内 まみ	岐阜	美濃加茂
顧問	特命理事		山中 白	岐阜	関
相談役			花市 佳明	愛知	岡崎
相談役			篠田 佳宗	愛知	刈谷
相談役			澤野 泰隆	岐阜	美濃加茂

東海ブロックYEG 単会紹介 愛知県連

県連	単会	会長	スローガン	会員数
愛知県連	岡崎YEG	鈴木 志信	『真時代突入』さあ、走り出せ！走り続ける！	226名
愛知県連	豊橋YEG	林 啓介	Positive Challenge ～より良い未来の創造に向かって～	175名
愛知県連	半田YEG	大橋 孝	『絆田維新』～自由と個性を武器に新たなる幕開けへ～	162名
愛知県連	一宮YEG	横井 浩	元展開気 ～絆を強め、未来へ繋ぐ～	127名
愛知県連	瀬戸YEG	森 紀保	育ち、導く、豊かな未来へ ～すべては愛するもののために～	75名
愛知県連	蒲郡YEG	竹内 則裕	ロックンロール ～路上に掲げた旗を見よ～	109名
愛知県連	豊川YEG	佐々木 大輔	「輪」～地域・仲間の輪を更に広げて～	94名
愛知県連	刈谷YEG	水越 弘美	エンジョイ・チャレンジ!! ～行き先は、みんなの笑顔～	134名
愛知県連	豊田YEG	築瀬 智宏	Chancers(チャンサーズ) ～チャンスは人を介してやってくる～	133名
愛知県連	碧南YEG	杉浦 敏夫	新時代への挑戦 ～新たな出会いを活力に～	40名
愛知県連	安城YEG	深津 貴弘	『ひろげる！地域とともに』	73名
愛知県連	西尾YEG	岡田 洋平	感謝と挑戦	89名
愛知県連	津島YEG	西尾 洋昭	笑TIME ～笑顔溢れる組織の創造～	62名
愛知県連	春日井YEG	岡本 博貴	全力挑戦 ～すべては、幸せになる為に～	140名
愛知県連	稲沢YEG	石黒 港	掴め Grab it with your hand. ～その手でつかめ～	44名
愛知県連	常滑YEG	都築 孝弘	「YEG HEARTS」～準備を怠らず、真摯な姿勢で、感謝の心を！～	75名
愛知県連	江南YEG	松野 拓也	“原点回帰”～会員企業相互の発展・更なる高みへ！～	96名
愛知県連	小牧YEG	沖野 仁	Build ～情熱×革新～	50名
愛知県連	犬山YEG	丹羽 佑介	Shine the Yourself ～あなたが決める頂きへ～	66名
愛知県連	東海YEG	岩井田 健太	継往開来	63名
愛知県連	大府YEG	橋本 亮	敬天愛人 ～考を原点とし他を益す～	84名

(2022.5.1時点)

東海ブロックYEG 単会紹介

岐阜県連・三重県連

県連	単会	会長	スローガン	会員数
岐阜県連	高山YEG	河上 祐治	「結」～人と繋がり、未来を創る～	147名
岐阜県連	関 Y E G	堀部 資宏	やればできる	134名
岐阜県連	恵那YEG	河合 将弘	結進 ～己の覚悟が新たな恵那YEGの歴史を創る～	79名
岐阜県連	各務原YEG	岩井 亮吾	智・仁・勇	84名
岐阜県連	美濃加茂YEG	佐合 成優	知行合一 ～Let's try～	49名
岐阜県連	可児YEG	貞本 尚洋	道普請	53名
三重県連	四日市YEG	福村 康仁	『迅速果断に行動しよう』～新たな挑戦・新たな進歩～	109名
三重県連	津 Y E G	横田 司	為せば成る ～成長から進化へ～	107名
三重県連	伊勢YEG	東口 俊輔	POWER UP YEG	93名
三重県連	松阪YEG	柴田 智広	つながりを楽しむ ～仲間と可能性の拡大～	133名
三重県連	鈴鹿YEG	岡田 基紀	「繋ぐ」～想いをひとつに 次代への創造～	107名
三重県連	桑名YEG	太田 裕二	『結』～集え、共に歩もう～	97名
三重県連	上野YEG	西尾 浩司	RE:BOOoOORN!! ～今こそ変革の時 走りだせ～	48名
三重県連	亀山YEG	板谷 英治	Bind ～1人は皆の為に、皆は1つの目的の為に～	46名
三重県連	尾鷲YEG	中瀬 幸志	「鳥の目、虫の目、魚の目」	32名
三重県連	名張YEG	宮本 雄基	「つなぐ」～未来を見据え今できることを全力に～	36名
三重県連	鳥羽YEG	東谷 俊介	～Eagle Fly Free～ 青年とは自由だ!自由とは無限大の可能性だ!	42名
三重県連	熊野YEG	野地 伸卓	熊野プランニューデイ ～新しい熊野YEGを作ろう～	29名

(2022.5.1時点)

東海ブロックYEG 歴代会長

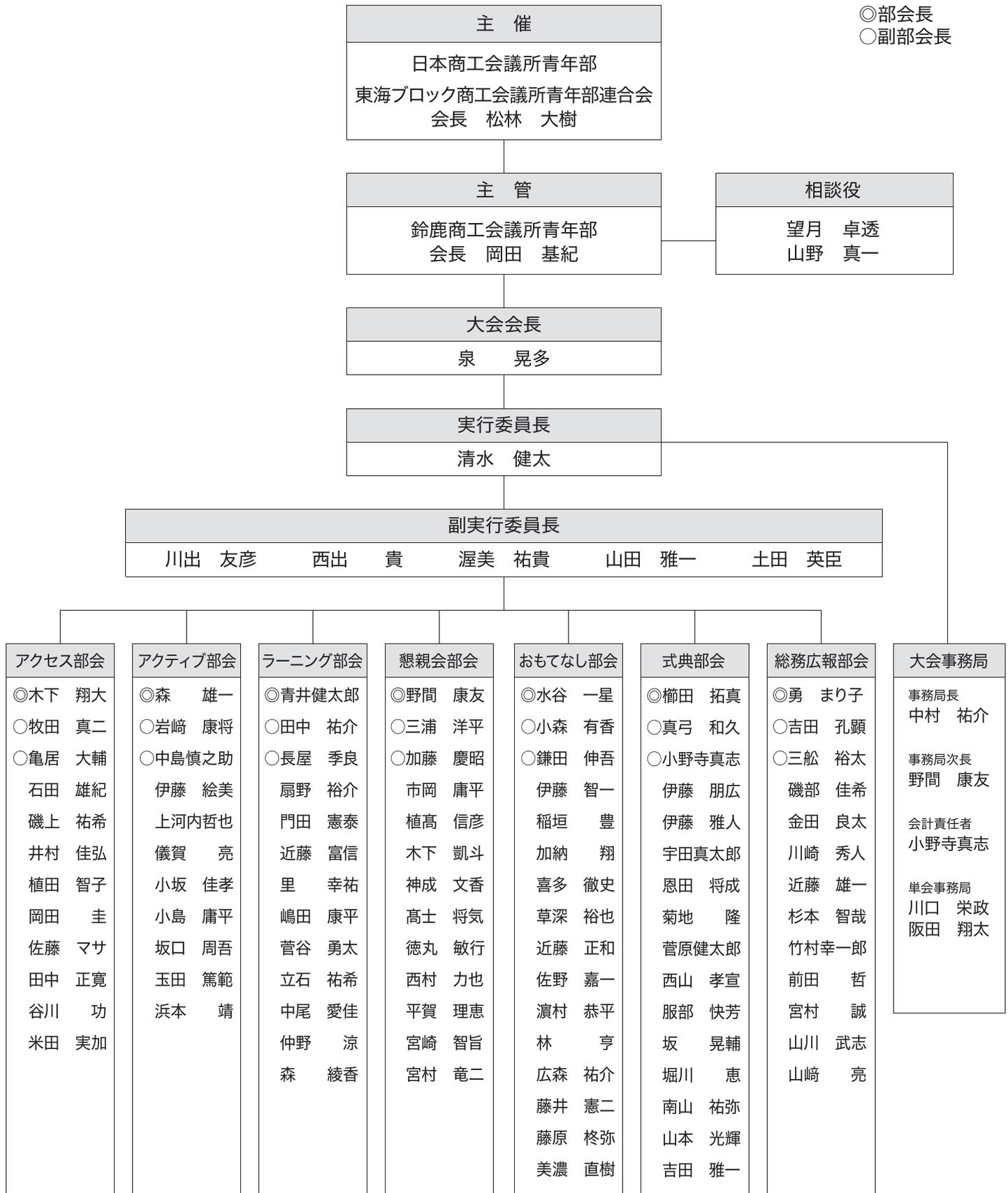


年 度	会 長	所属単会名	所属県連名	スローガン
平成9年度	管内 章夫	久 居	三 重	[東海ブロックYEG設立] 平成10年2月14日 設立総会開催
平成10年度	伊藤 正幸	豊 川	愛 知	感動東海 活かせYEG共有ネットワーク
平成11年度	前田 勘次	各 務 原	岐 阜	経済維新の風は東海から
平成12年度	中西 勇	松 阪	三 重	ミレニアム 2000 新未来創造宣言!!
平成13年度	原田 隆司	豊 田	愛 知	連携YEG 築こう 21世紀ネットワーク
平成14年度	牛丸 圭五	高 山	岐 阜	連携YEG 築こう東海のネットワーク
平成15年度	伊藤 素近	鈴 鹿	三 重	東海から・東海らしく・つなげよう「熱き地域のネットワーク」
平成16年度	山本 達彦	津 島	愛 知	YEGが織りなす情熱の東海
平成17年度	伊佐地路春	恵 那	岐 阜	情熱・結い・愛そしてYEG「東海から共に感動を」
平成18年度	青山 春樹	津	三 重	絆・新しい創造(かせ)を東海から!
平成19年度	今泉 教夫	豊 川	愛 知	“縁を活かせ” 集えYEG『東海から今行動を』
平成20年度	多田 道子	関	岐 阜	未来に咲く花 育むフィールド 東海から ~With Love!~
平成21年度	鈴木 成宗	伊 勢	三 重	集い戦え若き事業家 次代の日本は我ら東海から築く
平成22年度	松林 信吾	半 田	愛 知	CHANCE CHANGE CHALLENGE 出合い 交流 気づきのとき。今こそ次代への先導者となれ!
平成23年度	横山 浩之	各 務 原	岐 阜	次代への構築!そして人との繋がりを大切に!
平成24年度	山田 慎二	春日井	愛 知	夢を語り合い、未来の扉を拓こう
平成25年度	加藤 貴士	伊 勢	三 重	まつりだよ! YEG全員集合!
平成26年度	岡田 明文	可 児	岐 阜	始動せよ~すべては相手を知ることから~
平成27年度	岡本 浩延	四 日 市	三 重	“縁” “進化” “共生” ~理念の創造~
平成28年度	花市 佳明	岡 崎	愛 知	YEG Evolution “Y:役割”を自覚し、よい“E:影響力”を持ち、地域発展の“G:原動力”となる
平成29年度	安田 雅人	津	三 重	活力ある地域を青年の手で~繋がりから力を~
平成30年度	松林 良太	高 山	岐 阜	Take action, potential of YEG ~指標高く躍動!情熱東海ブロックYEGの挑戦者達~
令和元年度	篠田 佳宗	刈 谷	愛 知	CRAZY FOR DREAMS ~熱狂YEG、いざ新たな時代へ!!~
令和2年度	澤野 泰隆	美濃加茂	岐 阜	万里一空~次代に挑戦する覚悟 東海三十八の想いはひとつ~
令和3年度	寺田 昌史	豊 田	愛 知	今こそ見せよう YEGの底力を! 今こそ発揮しよう YEGの真価を!
令和4年度	松林 大樹	鈴 鹿	三 重	Remove The Limiter ~常識にとらわれない東海39の発想力!輝く未来を掴む実行力!~

東海ブロックYEG 過去のあゆみ

	開催地	主管単会	テーマ	登録数
第1回	津市	津(三重)	創るうふるさと21世紀への礎	297
第2回	関市	関(岐阜)	拡げよう友情の輪 創るう新時代の日本	274
第3回	春日井市	春日井(愛知)	翔け世界へ 新しい時代の開拓者(パイオニア)	344
第4回	鈴鹿市	鈴鹿(三重)	時代を先駆ける 賢明なる YEGたらん	593
第5回	岡崎市	岡崎(愛知)	東海ニューリーダーズ・サミット 信長・秀吉・家康「岡崎の陣」	679
第6回	恵那市	恵那(岐阜)	変革の時、今-YEGが未来を築く。	600
第7回	伊勢市	伊勢(三重)	伊勢アマテラス物語 日本の原点がまぶしい!躍動する伊勢への誘い	769
第8回	瀬戸市	瀬戸(愛知)	研げ感性、拡げよフィールド YEG連携時代	761
第9回	関市	関(岐阜)	鍛・錬・技・匠	795
第10回	久居市	久居(三重)	来て・見て・感じて 久居の湯と街	813
第11回	豊田市	豊田(愛知)	おいでん・みりん 夢ファクトリーとよた	1,083
第12回	各務原市	各務原(岐阜)	「大満足」～各務原～に来て大満足、交流できて大満足～	1,088
第13回	鳥羽市	鳥羽(三重)	ITS 翔大夢(イツツショウタイム)	991
第14回	豊橋市	豊橋(愛知)	Heart to Heat YEG ～界を越えて～	1,166
第15回	高山市	高山(岐阜)	来んかな 心のふるさと 飛騨高山へ	1,229
第16回	松阪市	松阪(三重)	「熱き心に」燃える松阪! 商人魂	1,371
第17回	東海市	東海(愛知)	More Pleasing Town みせます 東海の心粋	1,314
第18回	恵那市	恵那(岐阜)	“結いの心”息づく、YEGのコラボレーション!!恵那で	973
第19回	鈴鹿市	鈴鹿(三重)	東海にこだたする全皆パワー! 鈴鹿のち・か・ら 全束力!	1,586
第20回	豊川市	豊川(愛知)	縁“出会いが原点”おいでん豊川	1,378
第21回	関市	関(岐阜)	源清流清 ～起関の瞬間 時代の流れは東海から～	1,183
第22回	桑名市	桑名(三重)	「わ」～桑名よいとこきてみりゃ判る～	1,214
第23回	半田市	半田(愛知)	『絆だ』古からの薫り 童話の街から新たな Storyに ～友・誘・遊・and・YOU～	1,695
第24回	各務原市	各務原(岐阜)	「愛」～おもてなしの心で愛を育む～	1,427
第25回	春日井市	春日井(愛知)	未知なる扉 ～夢現大、今こそ変革の時～	1,317
第26回	伊勢市	伊勢(三重)	「えんじゃないか」～“えん”に感謝! 縁ヤー!圓ヤー!宴ヤー!	1,571
第27回	可児市	可児(岐阜)	「GO! ON!」～受け継がれし想いをその先へ～	1,207
第28回	伊賀市	上野(三重)	情熱の風は西から GO HITCH GO	1,138
第29回	岡崎市	岡崎(愛知)	GO to the TOP! team YEG ～志を「輪」人を「絆」仲間と共に いざ出陣!～	1,918
第30回	津市	津(三重)	ガッツで進め! あふれるスピリッツ! 輝く未来へレッツGO! ～活力ある地域を青年の手で～	1,484
第31回	高山市	高山(岐阜)	GO! Ready! GO! さあ!準備はできた! 東海は一つ! Go来高!	1,372
第32回	刈谷市	刈谷(愛知)	LEADERS YEG ～同志と織りなせYEGの絆、新たな時代にのっ刈谷!～	1,728
第33回	美濃加茂市	美濃加茂(岐阜)	Let's Try ～挑戦者が次代を創る 同志と共に何度でも～	1,273
第34回	豊田市	豊田(愛知)	「道」ひとつになり進め! この先の未来のために	1,562
第35回	鈴鹿市	鈴鹿(三重)	『Top Speed』～次代のへの舵を取り、同志と共にぶっちぎれ!～	

第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会 実行委員会 組織図





令和4年度

日本商工会議所青年部

第40回全国会長研修会



令和4年 11月 10日(木) ▶ 12日(土)
 YEG summit north osaka

出会い、学び、未来
 常識を超える価値の創造



【主催】日本商工会議所青年部

【主管】北大阪商工会議所青年部

【副主管】大阪府商工会議所青年部連合会

祝 日本商工会議所青年部
第35回東海ブロック大会鈴鹿大会

美の国 あきたで
お待ちしております



the
42nd
YEG
National
Convention
in AKITA



日本商工会議所青年部 第42回全国大会

美の国 あきた大会

TO BE WITH YOU

～あなたと一緒に～

喜びを幸せを共に感じよう そして次代へ

令和5年 2/15 [WED] → 19 [SUN]

TOKAI BLOCK CONVENTION 2023 IN TOYOHASHI



YEG

日本商工会議所青年部

第36回 東海ブロック大会

豊橋大会

DATE

2023 9/29 FRI・9/30 SAT

BEYOND THE STORY

Spinning Trails for the Next Generation. For Whom the Bell Tolls

次代へと紡ぐ軌跡
誰がために鐘は鳴る

主催 東海ブロック商工会議所青年部連合会

日本商工会議所青年部

主管 豊橋商工会議所青年部



令和4年度 各地ブロック大会
開催おめでとうございます

第35回 北海道ブロック大会 留萌大会／第35回 東海ブロック大会 鈴鹿大会／第41回 東北ブロック大会 岩手いちのせき大会
 第42回 北陸信越ブロック大会 長野大会／第40回 近畿ブロック大会 紀州たなべ大会／第42回 九州ブロック大会 宮古島大会
 第42回 関東ブロック大会 蔵の街とちぎ大会／第40回 中国ブロック大会 廿日市大会／第39回 四国ブロック大会 須崎大会

令和4年度 日本商工会議所青年部 ブロック代表理事 一同



日本商工会議所青年部

第35回

東海ブロック大会 鈴鹿大会

開催おめでとうございます!!!

我々はTop Speed
の志で応援します!!

ブンブン

令和3年度 日本商工会議所青年部

副会長 大日方 敢 (長野 YEG)

企画委員会 委員長 小野 知一郎 (小松 YEG)

林 啓介 (豊橋 YEG)

滝本 晋太郎 (柳井 YEG)

杉崎 尚人 (小田原箱根 YEG)

加藤 隆志 (秋田 YEG)

大房 正征 (沼津 YEG)

原田 伸昭 (豊田 YEG)

堀 将和 (田辺 YEG)

森本 章雄 (高松 YEG)

若菜 克友 (栃木 YEG)

園 昇 (鯖江 YEG)

鈴木 哲 (一関 YEG)

柴沼 秀篤 (土浦 YEG)

杉澤 克久 (三島 YEG)

泉 晃多 (鈴鹿 YEG)

森兼 大作 (井原 YEG)

古谷 知義 (須崎 YEG)

茶花 強志 (輪島 YEG)

長野 基哉 (小松 YEG)

宮本 柁史 (塩釜 YEG)

新川 大志 (厚木 YEG)

佐々木 孝介 (恵那 YEG)

西澤 真介 (北大阪 YEG)

古谷 正樹 (廿日市 YEG)

奥平 芳浩 (宮古島 YEG)

日本商工会議所青年部
第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会

ご協賛企業紹介

INTRODUCING OUR SPONSORS



Top Speed

次代への舵を取り
同志と共に
ぶっちぎれ!

2022.9.2 [FRI] .3 [SAT]

いま治療から予防の時代へ、
あなたの健康をサポートします。



人間ドック・脳ドック・生活習慣病検診・乳ガン検診・
特定検診等を受け付けています。

三重先端医療PETセンター

(専用電話059-375-3300)

微少なガン細胞も早期発見できる高精度な画像診断装置「PET-CT」



PET-CT

医療法人 誠仁会 塩川病院

三重県鈴鹿市平田1丁目3番7号 TEL059-378-1417(代)
<http://www.shiokawa-hp.jp> ■近鉄鈴鹿線「平田町駅」より徒歩3分

地域の皆様に愛され、貢献できる企業を目指します。

IKEDA ACT

イケダアクト株式会社

IKEDA ACT

イケダアクト株式会社

〒513-0032 三重県鈴鹿市池田町櫛引1140
TEL.059-383-2772(代) FAX.059-383-2990
URL <http://www.ikeda-act.co.jp>

■建設事業部

〒513-0032 三重県鈴鹿市池田町櫛引1140
TEL:059-383-2772 FAX:059-383-2990

■住宅・リフォーム事業部

パナソニック リフォームクラブ
「リファイン鈴鹿みなみ」
〒510-0254 三重県鈴鹿市稲生2丁目19-14
TEL:059-387-1007 FAX:059-387-1079
営業時間9:00~19:00(水曜定休)

■不動産事業部

株式会社イケダエステート
〒513-0032 三重県鈴鹿市池田町1140-6
TEL:059-383-7172 FAX:059-383-2990
☎0120-1459-21

■レストラン事業部

ベーカリーレストラン「プリマベラ」
〒513-0019 三重県鈴鹿市高岡台1丁目3-2
TEL:059-349-4560 FAX:059-349-4561
営業時間9:00~22:00[月曜日のみ15:00まで]
「プリマカフェ」
リファイン鈴鹿みなみ地内

1ℓの水にさっと溶ける

THE LITRE

ザリットル

さっとおいしく、
ちょっといいこと。

AGF Blendy THE LITRE ザリットル
緑茶
旨み豊か
宇治抹茶入り!

本品は2000mgの抹茶を配合しています。
※抹茶の抽出には20分程度かかります。
※抹茶の抽出には20分程度かかります。
※抹茶の抽出には20分程度かかります。
※抹茶の抽出には20分程度かかります。



※写真はイメージです。



「ブレнди®」ザリットル 緑茶



「ブレнди®」ザリットル 烏龍茶



「ブレнди®」ザリットル ルイボスティー



「ブレнди®」ザリットル ジャスミン茶



「ブレнди®」ザリットル コーヒー



「ブレнди®」ザリットル 紅茶



「ブレнди®」ザリットル ほうじ茶



「ブレнди®」ザリットル 水分補給応援



「働き方」や「学び方」に合わせて柔軟に空間を創造



FLEXIBLE SPACE CREATION

自由な発想で、限られたスペースを最大限に生かす“Sanlive workシリーズ”
機動性、収納性に優れたおしゃれなチェア&テーブルをラインナップしています。



株式会社 **SANKEI**

〒513-0017 三重県鈴鹿市上野町字助町48番地
TEL:059-378-0465 FAX:059-378-3719

<https://www.isu-sankei.co.jp/>



看板専門店

ADK

AD KATO KOGEI

屋外広告業
各種看板設計施工
看板メンテナンス
一般塗装

株式会社 アドカウエー

挑戦すること

0

無限の精神

1. 顧客の要求に応じた技術力を確実に提供。
2. 品質マネジメントシステムの要求事項を満たし、品質不良「0」を目標に継続的改善をする。
3. 当社のシステム運用及び、運用維持、システムの継続的改善に対し必要な資源を提供する。
4. 当社の掲げる品質目標を達成する為、日々改善に取り組む。

明日の可能性が変わる。
未来の可能性が変わる。
暮らしの可能性が変わる。
毎日の可能性が変わる。
自分の可能性が変わる。
電気の可能性が変わる。
通信の可能性が変わる。
建築の可能性が変わる。
警備の可能性が変わる。

私たちは、
挑戦することをやめない。



株式会社 サンシステム

HEAD OFFICE

510-0256 三重県鈴鹿市磯山1丁目20-53
TEL.059-388-6800 / FAX.059-388-6300

BRANCH OFFICE

510-8588 三重県三重郡川越町大字豊田668-1
510-0254 三重県鈴鹿市寺家7丁目27-12
460-0017 愛知県名古屋市中区松原3-2-8 1F



空調・総合設備工事・メンテナンス
有限会社つばき総合設備

代表取締役 **伊藤 圭次郎**

本 社

〒519-0311 三重県鈴鹿市大久保町1835
TEL 059-371-6030 FAX 059-371-6040

営業所

〒519-0312 三重県鈴鹿市椿一宮町1605-8(国道306号線沿)
TEL 059-371-6200 FAX 059-371-6202

安全と安心をお約束する

《消防用設備工事・点検のご用命は…》



鈴鹿防災株式会社

〒513-0054 鈴鹿市中箕田一丁目27番20号
TEL.059-395-3600 FAX.059-395-3700
URL <http://www.suzukabousai.com>

街を守る。

もしもの時、私たちの街を守るために
鈴鹿防災ができる安全・防災対策。



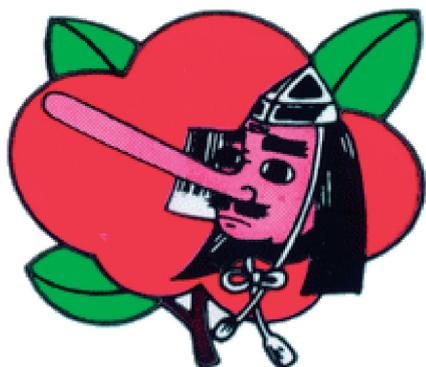
伊勢街道三百年蔵

東海醸造株式会社

〒513-0815
三重県鈴鹿市西玉垣町1454

TEL.059-382-0001

創業昭和2年 椿大神社参拝みやげ



鈴鹿名物

椿こんにゃく

鈴鹿山麓の豊かな自然の中で、昔ながらの製法で造られたこんにゃくです。原材料・水にこだわり他では味わえないこだわりこんにゃくを一度御賞味下さい。

〒519-0315

三重県鈴鹿市山本町208-48

TEL.059-371-1059



「情報を、より効果的に伝えたい。」

最新の技術と、長年培った経験で、ご要望に応えるべくお手伝いをさせていただきます。

Creative Communication



(有)中村特殊印刷工業

Tel 059-386-0392 Fax 059-386-0393 鈴鹿市寺家4丁目16番26号

✉ specialp@mecha.ne.jp



DUSK!N **ダスキン**中江島支店

喜びのタネをまこう

 **0120-413-367**

9:00~19:00
※土・日曜定休

株式会社 三鈴 鈴鹿市中江島町2-5 ☎059-387-8841

幸せのきっかけを作る肉屋

NIKU NO TAHIKO

肉の田彦



meat shop



TAHIKO



さとふる



はじめまして、TAHIKOです。
1969年から三重県鈴鹿市で、
精肉加工・卸業を営んでおります。

50年以上お肉と向き合い、
その可能性を日々、追求してきました。

少し手を加えてあげるだけで、
全く違った味を出してくれる肉の魅力、
全国に伝えたい。

他ではない、お肉の加工品をぜひお召し
上がりください。



〒513-0823
三重県鈴鹿市道伯2丁目11-29
tel 059-378-0100

地域社会への貢献と従業員のやる気がお客様の満足へ

創業以来培ったノウハウで、新たな創造に向かって邁進します



業務請負業、労働者派遣業、金属加工業

ジヤスト物流株式会社

JUST BUTSURYU Co.,Ltd.

TEL:059-370-3070

三重県鈴鹿市広瀬町1432番地
FAX:059-370-4165

婚礼ふとん

ふとんリフォーム

寝具

クリーニング

インテリア

打直し

贈答用品

貸布団



ワセイ

鈴鹿市算所2-5-1 鈴鹿ハンター2F ☎059-378-6111

中勢自動車学校

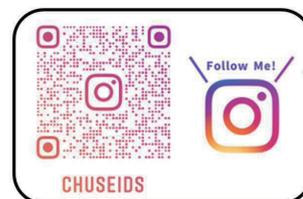


鈴鹿市寺家6丁目-20

059-386-1452



HPはこちら





TOTAL DESIGN OFFICE
Mdesign

- DESIGN PLANNING
- WEB DESIGN
- COMPANY IDENTITY
- MARK&LOGO
- COMPANY GUIDANCE
- PAMPHLET
- POSTER
- BILL
- SIGNBOARD DESIGN
- THE OTHERS

デザインのことなら。

Mデザイン 〒513-0809 三重県鈴鹿市西条5丁目8-2 ●PHONE 059-384-0514 ●FAX 059-384-3641 ●E-MAIL m-design@mecha.ne.jp



クラブ
蝶々

〒513-0845 三重県鈴鹿市平田新町1-11 tel : 059-375-0024

鈴鹿インター株式会社

運輸業・倉庫業務・加工,検査業務などの総合物流

本社:〒513-0827 三重県鈴鹿市大池三丁目14番1号
TEL:059-379-2816 <https://www.suzuka-inter.co.jp>

介護サービス施設 **さつきの里**

デイサービス/グループホーム/居宅介護支援事業所

住所:〒519-0323 三重県鈴鹿市伊船町字北上の割2020-3
TEL:059-371-6300 <https://www.suzuka-inter.co.jp/satuki/>



2021年4月 いなべ事業所 開設

毎日つつみたて **製造直** お持ち帰り



生餃子専門店



YEBISU COMPANY

エビス.カンパニー.

二代目
甚八

新
進

魚びすや

うどん
甚八

MS&AD

あいおいニッセイ同和損害保険

〒510-0088 四日市市元町1-16 TEL:059-351-1668

鈴木造園工業

〒510-0204

鈴鹿市稻生西1-1-35

TEL:059-387-6120



STÒRIA HOTEL GROUP

鈴鹿ストーリーホテル 白子ストーリーホテル APA HOTEL〈鈴鹿中央〉 APA HOTEL〈三重亀山〉 旅館 鈴鹿みどりの杜



より良い環境をめざして

株式会社 ケイゴ設備

〒513-0013
三重県鈴鹿市国分町167-8

TEL: 059-373-1521



ミニストップ

鈴鹿西条店 〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-47
TEL・FAX (059) 384-4536

四日市浜田町店 〒510-0067 三重県四日市市浜田町9-3
TEL・FAX (059) 356-4711

鈴鹿平田店 〒513-0827 三重県鈴鹿市大池1-1-8
TEL・FAX (059) 378-7720

四日市末永店 〒510-0807 三重県四日市市末永町一本木1084-1
TEL・FAX (059) 331-2004

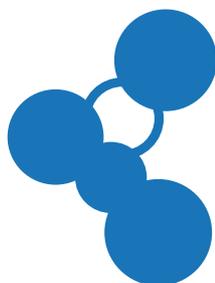
鈴鹿安塚店 〒513-0818 三重県鈴鹿市安塚町664-2
TEL・FAX (059) 383-7557



Domino's

ドミノ・ピザ
鈴鹿サーキット通り店

〒510-0204 三重県鈴鹿市稻生西3-11-16
TEL・FAX (059) 380-5588



CHUBU-INDUSTRY

イキイキはたらく、わたしはCHUBU。

中部工業株式会社

〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町2200番地の242

TEL: 059-370-3418

業務請負

人材派遣

フラットカーズ FLATCARS

三重県鈴鹿市平田本町2-20-8

TEL: 059-370-3993



軽専門のレンタカー!
お気軽にどうぞ!!

三重県鈴鹿市平田本町2-20-8

TEL: 059-318-8888



肉の奴隷

鈴鹿市平田新町2-7 TEL:059-399-7727



テラー 花菱
Since 1920

☎ 059-382-0137

不在時 ☎ 090-7045-0608

住 鈴鹿市神戸8丁目1番8号 営 10:00~20:00
休 水曜定休 P 有



予約優先

予約は携帯電話にご連絡いただくか
LINEよりメッセージをお願い致します。



建設業許可 機械器具設置工事業 三重県知事許可(般-3) 第23264号

MIK モトムラ工業

生産設備

設計・製作・施工・解体・メンテナンス

製缶加工一式

513-0032

三重県鈴鹿市池田町字櫛引1123

TEL:059-383-4440 FAX:059-383-5775



株式会社

ジェイワントラベル

三重県鈴鹿市岡田3-3-1 岡田ウイングショッピングセンター

TEL:059-375-0020

三重県知事免許(8)第1881号

ティー・エス中部開発(株)

〒510-0241 三重県鈴鹿市白子駅前28-8 山伴ビル2F

TEL:059-324-8154



屋外広告業届出済証 第(06)00108号 一般建設業許可 三重県知事 許可(般-26)第23002号

サインズクリエイション

検索

株式会社 **サインズクリエイション** Sign's Creation

各種看板製作

〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町7651-16

TEL.059-370-2005 FAX.059-370-2248

庶民的居酒屋



~ちゃん

白子駅前商店街

TEL 059-392-6780

ようこそ鈴鹿へ!!

TOKAI交流委員会 宮部昌門委員長(関YEG) AGM38委員会 福岡利文委員長(豊田YEG)
 とうかい委員会 中村祐介委員長(鈴鹿YEG) 東海研鑽委員会 鈴木隆博委員長(豊橋YEG)
 YEG在籍中は大変お世話になりました!無事に卒業できました!

そして、出会ったすべてのYEGメンバーの皆さま、ありがとうございました!最高に楽しかったです!

ぶっちぎれ! 鈴鹿YEG!!

鈴鹿YEG OB 小森 一

各種看板設計・施工

エヌエス工芸

〒513-0056

三重県鈴鹿市上箕田1丁目22-29

TEL:059-383-1022

カーファミリーヒグチ CAR FAMILY HIGUCHI

〒510-0223 三重県鈴鹿市若松北1-6-29
【営業時間】9:00~18:00 【定休日】日・祝日・第2月曜

TEL:059-385-2520

Before



小さな
キズへこみから
事故車修理まで
自動車の钣金塗装は
お任せください

After



~住む人の心を大切に~

株式会社 **中里工務店**

鈴鹿店 〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸8丁目32-15

TEL:059-373-7061



創業三百年余
小原本舗 大徳屋長久

本店
〒510-0243 三重県鈴鹿市白子1丁目6-26
TEL:059-386-0048 FAX:059-386-6983
営業時間:8:00~17:00 (定休日:水曜日)

Try new things

SK-NET



中日新聞

神戸北部専売店
(有)長野新聞舗

鈴鹿市神戸8丁目27-38 TEL.059-382-0188

米伝ガス株式会社

鈴鹿市神戸6-5-18

TEL:059-382-0072



鈴鹿で赤ちゃんとマタニティに
優しいお店

ベビー&マタニティ

サカヤ

東京久月・宮内庁御用 吉徳 正規特約店

鈴鹿
人形の阪田

イオンベルシティより東へ600m 近鉄 平田町駅前 駐車場35台完備
鈴鹿市平田新町1-40 (近鉄平田町駅前) 営業時間 午前9時30分~午後7時

TEL059-378-1065(代) [ベビー・マタニティ・人形 サカタ](#) [検索](#)

人と人、心と心のおつきあいを創業以来55年 伝統と信頼を贈る鈴鹿の専門店です

〒513-0046
三重県鈴鹿市南堀江2-23-28

営業時間 平日・土曜日 9:00~19:00
日曜・祝日 9:00~18:00

定休日 毎週水曜日

TEL.059-385-0508

大田屋

鈴鹿の地酒を
ナビする酒屋!



有限会社
小林鉄工所

513-0852 鈴鹿市末広西1-5

TEL.059-383-6810


YAMAKOH

夢の膜空間を創造する
テント・シート・セレモニー・企画・設計施工

有限会社 ヤマコト

〒513-0809 鈴鹿市西条9丁目14番地
TEL:059-382-0375(代) FAX:059-383-7205


YAMAKOH

喜ばれることに悦びを創造する
総合企画・運営・制作・施工・イベント・セレモニー・レンタル・リース
New ベストウェイト(世界特許) 総販売元

ヤマコー株式会社

〒513-0809 鈴鹿市西条9丁目14番地
TEL:059-382-8941(代) FAX:059-383-7205


S.C.S

株式会社
スズカキャリーサービス

三重県鈴鹿市国府町字菖蒲谷5095-1

TEL.059-378-3188(代)


HIRATAOIL

平田石油有限会社

〒513-0844 三重県鈴鹿市平田2丁目6番15号

TEL.059-378-0509



オリエンタルクラブ 鈴鹿市算所1丁目7-27 帝王プラザビルB1
TEL:059-375-3618



平野製畳株式会社

〒510-0244 三重県鈴鹿市白子町214(白子郵便局前)
営業時間 8:00~18:00 定休日:日曜日

 **0120-86-1282**

TEL:059-386-1282(24時間/365日受付)
障子・襖・カーテン・和室のトータルコーディネートお任せください。

スチールボックス、スチールパレットの企画・製作・販売

株式会社 三峰工業

三重県鈴鹿市国府町浜弓場1026

TEL:059-378-2858



中日新聞

(株) ECSS 鈴鹿旭が丘専売所

鈴鹿市中旭が丘4-6-44

TEL:059-392-7767

オフィス関連商品・パソコン・コピー機などOA機器
事務機器や事務用品・サプライ用品・オフィス家具
コピーサービス(カラーコピー・大型コピー)

(株)ハヤカワ商会

〒513-0806 三重県鈴鹿市算所3丁目16-30

TEL 059-378-0654/FAX 059-378-6365

E-mail: hayakawa@mecha.ne.jp

URL: http://hayakawa-syokai.co.jp



三重県宅地建物取引業協会会員

スズシヨウカイ 有限会社

〒513-0816 三重県鈴鹿市南玉垣町7051番地

TEL.059-384-0503

総合保険代理店

誠和サービス

〒510-0227 三重県鈴鹿市南若松町700-6 202号

TEL.059-392-7711

【取扱保険会社】日新火災海上保険
日本損害保険協会認定 損害保険トータルプランナー



Top Speed

次代への舵を取り
同志と共に
ぶっちぎれ!

主 催 東海ブロック商工会議所青年部連合会
日本商工会議所青年部
主 管 鈴鹿商工会議所青年部
後 援 中部経済産業局
三重県
鈴鹿市
東海商工会議所連合会
三重県商工会議所連合会
鈴鹿商工会議所
三重県商工会議所青年部連合会

発行日 令和4年9月3日
編 集 第35回東海ブロック大会 鈴鹿大会実行委員会
発 行 鈴鹿商工会議所青年部
事務局 鈴鹿商工会議所青年部 事務局
〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町816
TEL:059-382-3222 FAX:059-383-7667
WEB:<https://suzuka-yeg.com/>